

—中山間地域等を元気にするため
多様な取組を後押しします—

中山間地農業ルネッサンス事業 ～取組事例集～

令和5年4月
農林水産省

目 次

地域名	事 例	中山間地農業 ルネッサンス推進支援	元気な地域創出モデル支援						主な取組内容								頁	
			高収益作物の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口の増加	ICT技術の活用	棚田地域の振興	複合経営・半農半X	担い手育成	農地集積	高収益作物	加工・販売	観光・交流	定住促進	外部人材確保	鳥獣害対策		荒廃農地対策
北海道 十勝地域	そばや食肉の高付加価値化による農業所得向上につなげる取組	○								○								1
青森県 東青地域	高収益作物導入の取組を軸にした魅力的な農村の実現	○	○						○	○	○							2
岩手県 県南地域	地域リーダー育成等による交流人口拡大に向けた受入体制の高度化	○						○				○		○				3
宮城県 仙台地域	技術指導による新たな生産者の育成や都市住民との交流による所得向上の推進	○	○	○				○		○	○					○		4
宮城県 大崎地域	雑草抑制技術の確立による有機米生産の省力化・収量増・生産拡大の実現			○				○									○	5
秋田県 鹿角地域	地域特産野菜「鹿角松館しぼり大根」の生産活動を通じた地域の活性化について	○								○	○	○			○			6
山形県 置賜地域	美しい自然環境など地域資源を活かした観光コンテンツ開発と農都交流事業のさらなる充実	○										○						7
福島県	地域外人材の活用による地域活性化・営農活動継続・担い手の育成確保	○			○			○				○		○				8
茨城県	中山間地域における農業・農村の保全意識の向上及び啓発	○																9
栃木県 塩谷南那須地域	広域協議会による棚田地域の一体的かつ効率的な振興						○					○						10

目 次

地域名	事 例	中山間地農業 ルネッサンス推進支援	元気な地域創出モデル支援						主な取組内容								頁	
			高収益作物の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口の増加	ICT技術の活用	棚田地域の振興	複合経営・半農半X	担い手育成	農地集積	高収益作物	加工・販売	観光・交流	定住促進	外部人材確保	鳥獣害対策		荒廃農地対策
群馬県 西部地域	古民家整備(空き家対策)や特産品開発を契機とした農山村活性化の取組	○									○	○			○			11
千葉県	地域リーダーの育成による持続可能な中山間地域づくり	○									○				○			12
山梨県 峡南地域	宝の土から地域への郷土愛を育てよう！ ～大塚にんじんをつかった地域づくり戦略～	○									○	○						13
長野県 上伊那地域	地域資源を活かした農産物の高付加価値化による魅力ある農業の創出			○							○							14
静岡県 中遠地域	地域資源を活かした都市住民との交流拡大と誘客商品の開発			○							○	○						15
新潟県 上越地域	農業者の意識醸成による農産物等の付加価値向上・販売促進	○									○							16
富山県 砺波地域	適切な排水対策の実施による新たな「にんじん」産地づくり		○	○					○		○	○						17
石川県 中能登地域	農業参入を契機とした担い手間の連携による所得向上の実現	○	○								○	○			○			18
福井県 丹南地域	新たな地域資源の創出と交流促進による中山間地域の活性化	○										○						19
岐阜県 東濃地域	農産物等直売所「きなあた瑞浪」から広がる地域の所得向上	○									○	○			○			20

目 次

地域名	事 例	中山間地農業 ルネッサンス推進支援	元気な地域創出モデル支援						主な取組内容									頁	
			高収益作物の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口の増加	ICT技術の活用	棚田地域の振興	複合経営・半農半X	担い手育成	農地集積	高収益作物	加工・販売	観光・交流	定住促進	外部人材確保	鳥獣害対策	荒廃農地対策		省力化
岡山県 備中地域	笠岡諸島のヒトとモノの交流ハブ機能の創出による地域の活性化			○								○	○						31
広島県 尾道地域	野菜の導入を見据えた基盤整備による経営の高度化	○										○					○		32
山口県 油谷地域	棚田地域の魅力を発信！～美しいふるさとを未来へ～			○				○				○	○						33
徳島県 にし阿波地域	世界農業遺産を活かした持続可能な魅力ある地域づくり	○							○			○	○				○		34
香川県	農村活性化の成功要因調査・横展開と都市との交流の場づくり支援	○							○				○			○			35
愛媛県 南予地域	圃場整備及び高収益作物の導入等による所得向上	○										○	○						36
高知県	営農戦略・販売戦略の策定や人材育成を含む体制整備など、地域の所得向上に向けた取組を深化	○																	37
福岡県 筑後南東部地域	主力品目の生産条件の改善による付加価値化及び担い手確保による所得向上の実現	○										○					○	○	38
佐賀県 唐津・東松浦地域	棚田の魅力発信による関係人口増加やブランド米の販売促進					○						○	○						39
長崎県	直売所を核とした地元農産物の加工品開発や生産現場の情報発信強化などによる地域の活性化	○		○	○							○	○						40

そばや食肉の高付加価値化による農業所得向上につながる取組

とから しんとくちょう
【北海道十勝地域】（新得町）

中山間地農業
 ルネッサンス
 推進支援

高収益作物
 の生産

高付加価値
 ・販売力強化

関係人口
 の増加

I C T技術
 の活用

棚田地域
 の振興

複合経営・
 半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

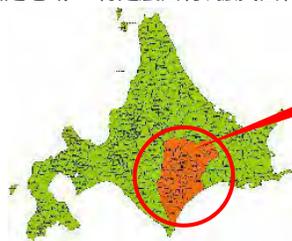
【地域の現状・課題】

- 畑作、酪農、肉牛経営を主体とした農業を展開しているが、農業者の高齢化が進行。
- エゾシカ等による農作物被害が拡大。過年度に整備した施設で捕獲鳥獣を加工して有効活用に取り組んでいるが、さらに魅力的な商品開発、販売拡大につなげるため、駆除の取組を推進する必要。
 （平成29年 農作物被害額：約9.8百万円）
- 捕獲鳥獣肉及び町内で生産される食肉の加工・販売拡大に取り組む必要があるがノウハウが不足。
- 町内産そばは、「新得そば」として生産が拡大しているが、さらに付加価値を高めて所得向上につながる必要。

【地域の位置】

北海道 十勝地域

上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、更別村、大樹町、広尾町、
 幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町
 【指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎等】



十勝地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

研修会の開催及び所得向上のための策の検討と試行

- 農業者等による地域の特色、資源を活かした取組や支援制度を活用した優良事例の普及・啓発のための研修会を開催
- 地域の所得向上に資するような活性化策の策定と試行への支援

試行をふまえ取組を具体化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
 （優先枠等）

地域資源の加工品の開発・商品化及びそば加工施設の整備

- 捕獲鳥獣（エゾシカ）や町内で生産される食肉の価値を高めていくため、賞味期限が長く常温で保存できる加工品を開発し商品化。



常温加工品（缶詰）の試作

- 「新得そば」のブランド向上、ロット確保のため、新得産そばの加工処理施設をルネッサンス事業の優遇措置を活用して増強。



そばの加工処理施設

【6次産業化ネットワーク活動整備交付金】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同取組活動による鳥獣被害軽減、持続的農業の推進

- エゾシカ等による農作物の食害対策（侵入防止柵の設置、捕獲器の導入など）を推進し、農作物の被害を軽減
- 環境と調和したクリーン農業の推進により、持続的に発展できる農業を下支え



エゾシカの捕獲状況

【鳥獣被害防止総合対策交付金】

【環境保全型農業直接支払交付金等】

事業の効果

地域資源販売の仕組み作りの確立 ブランド化に伴う農業所得の向上

- 地域資源を活かした特産品開発と販売拡大。



エゾシカの肉の缶詰

商品は、町内施設のほか十勝管内の百貨店、インターネットで販売。ふるさと納税のお礼の品としても活用。

エゾシカ肉の缶詰の販売額（千円）



- 新得産そばのブランド化による農業者の所得の向上



半生そば、そば茶の販売額（千円）



高収益作物導入の取組を軸にした魅力的な農村の実現

とうせい よもぎたむら あおもりしほくぶ
【青森県東青地域】（蓬田村・青森市北部地域）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践
--------------------------	--------------	------------------	-------------	-----------------	-------------	------------------

【地域の現状・課題】

- 陸奥湾のホタテや水田利用のトマトが地域振興の柱。
- ホタテ残渣やホタテ貝殻の有効活用が課題。
- 過疎化・高齢化により労働力確保が困難。新規就農者と担い手の確保が急務。
- 機械化が可能で所得向上が見込まれる土地利用型作物の「たまねぎ」栽培に取り組み、収益性の向上と産地形成を目指す。

【地域の位置】

【青森県 東青地域】
 （蓬田村・青森市北部地域）
 （指定地域：過疎、振興山村、特定農山村、半島）

蓬田村・青森市北部地域



中山間地農業ルネッサンス推進事業

高収益作物導入の検討及び実証による試験栽培

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 収益性の高い「たまねぎ」に着目し、JA等関係機関と連携し、先進地視察や研修会等により県内での栽培振興を推進。
- 実証までの現地検討会の開催、栽培ごよみの作成・配布、イベントでのP R販売により、人材育成と普及啓発活動を実施。



先進地視察



実証までの試験栽培
・現地検討会

【元気な地域創出モデル支援】

- 実証ほによる「たまねぎ」の春定植及び秋定植栽培の栽培技術等を検証。

検討・試験結果を活用

高収益作物導入に向けた地域資源を活用した生産基盤整備（優先枠等）

ホタテ貝殻を活用した暗渠排水の再整備

【農地耕作条件改善事業】

- 高収益作物の栽培に向け、疎水材としてホタテ貝殻を活用した暗渠排水を再整備。



暗渠排水にホタテ貝殻使用・整備後のほ場

<地域の取組>

ホタテ残渣による堆肥を活用した「陸奥湾の資源が作り育てた野菜」（蓬田村）

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠等）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

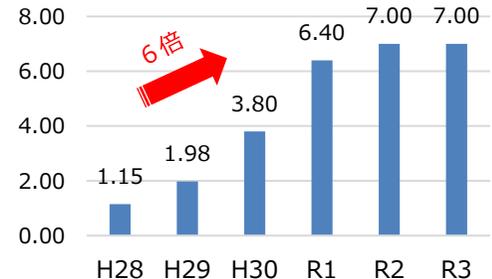
- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開
 【多面的機能支払交付金（支援事業）】
 【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

事業の効果

地域に適合した栽培技術確立と販売拡大

- 実証ほでの試験栽培により、春定植及び秋定植栽培の栽培技術の確立。
- 高収益なたまねぎの作付面積拡大を推進し、生産量の増加により農家所得を確保。

作付面積（ha）



- 地元スーパーとの契約により、安定的な販売ルートを確認し、販売額を向上。
- 地域のイベントでのP R販売により、新たに飲食店との販売ルートを構築。



たまねぎのP R販売

地域リーダー育成等による交流人口拡大に向けた受入体制の高度化

けんなん はなまし きたかみし とおのし いちのせきし おうしゅうし にしわがまち かねがさきちょう ひらいずみちよう
【岩手県県南地域】（花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町）

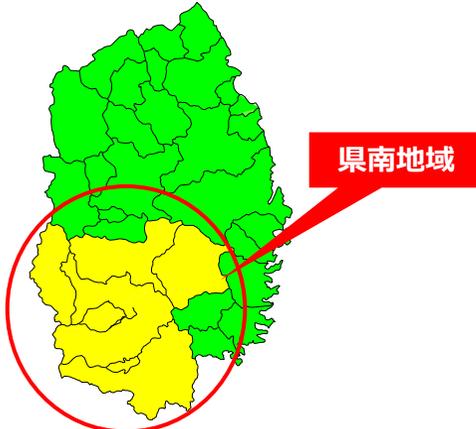
元気な地域創出モデル支援
 中山間地農業ルネッサンス推進支援
 高収益作物の生産
 高付加価値・販売力強化
 関係人口の増加
 ICT技術の活用
 棚田地域の振興
 複合経営・半農半Xの実践

【地域の現状・課題】

- 中山間地域では、高齢化や人口減少の進行により、農業生産活動はもとより、農村集落機能や地域活力の急激な低下が懸念されている。
- 中山間地域の活性化を図るため、各地域におけるビジョン作成やビジョンの実現に向けた実践活動への支援、地域をけん引するリーダーの育成が必要である。
- 個人旅行者やインバウンドなど、多様化するグリーン・ツーリズムに対応できる受入体制を整備し、都市と農村の交流人口の拡大を図っていくことが必要である。

【地域の位置】

【岩手県県南地域】
 [指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎等]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域ビジョンの作成支援と交流人口の拡大に向けた取組支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 本庁及び現地機関で設置した支援チームが各地域におけるビジョン作成とビジョンの実現に向けた実践活動を支援。
- 各地域におけるビジョン作成や実践活動をけん引する地域のリーダーを育成するため、集落代表者等を対象とした研修会を開催。
- 中山間地域における交流人口の拡大に向け、体験型教育旅行や企業研修の誘致のためのPRパンフレットを作成。



地域リーダー育成研修

取組を高度化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

交流人口の拡大に向けた人材育成と受入体制の高度化

- スキルアップ研修会等により、グリーン・ツーリズム等による交流人口拡大の取組を担う人材を育成。
- 外国人旅行者やキャッシュレス決済等への対応に向けた機器導入による農泊推進団体等の受入体制の高度化を推進。



スキルアップ研修会

【農山漁村振興交付金（農泊推進対策）】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

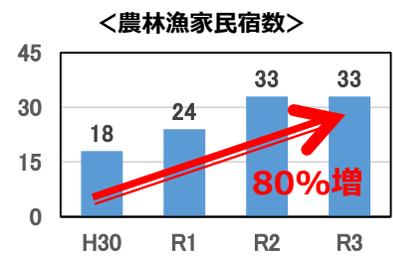
地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農地等の保全管理の推進など、地域を下支えする共同活動を支援。
 【多面的機能支払交付金（支援事業）】
 【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】

事業の効果

農林漁家民宿数の増加

- 地域の農泊推進団体等の活動が活発化し農林漁家民宿数が増加。

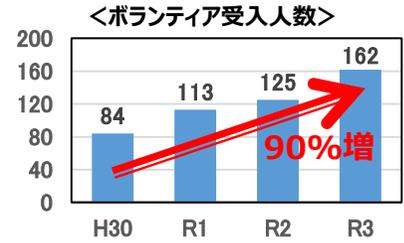


交流人口の拡大

- 奥州市衣川の北股地区では、大学生との交流活動が発展し、同地区への農業ボランティアが増加。地域活動の新たな担い手確保につながっている。



学生ボランティアによる堰払い作業



【地域の現状・課題】

- 松島町の農業は、水稻単作が中心であり、生産調整した水田での大豆生産や、多種多様な野菜生産も行われている。
- 高齢化による離農や後継者不足により、耕作放棄地が増加しており、地域資源の管理体制を含め担い手の確保・育成が必要。
- 耕作放棄地や放置竹林の増加が、鳥獣による農作物被害を招き、収益率低下による生産者の意欲低下を懸念。
- 所得向上のため、農産物の高付加価値化や収益性の高い作物の導入が課題。

【地域の位置】

【宮城県】(松島町)

[指定地域： 過疎、農林統計上の中山間地域]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

営農指導員による巡回指導及び加工品の試作

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 農業者の所得向上や担い手の育成に向け、営農指導員による果樹等の技術指導を実施。
- 栽培ごよみ（白菜、長ねぎ）を作成して、新たな生産者の育成を開始。



営農指導

【元気な地域創出モデル支援】

- 新たな特産品の創出による所得向上を目指し、農産物の加工品（タケノコ味付け煮）試作及びパッケージデザイン作成を実施。

生産者をさらに育成

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

都市住民と地域農家の交流による地域活性化

- 地域農家が草刈り等の整備をした耕作放棄地において、都市住民の農作業体験や果樹収穫体験を実施し、地域農家との交流を推進することで、地域を活性化し、農家の生産意欲向上を図る。



都市住民と地域農家の交流（竹林整備交流会）

【町単独事業】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣被害対策の強化、地域資源の保全管理体制の強化・充実など、地域を下支えする取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金 等】

事業の効果

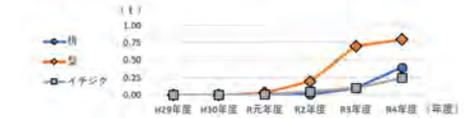
耕作放棄地等を活用した高収益作物の生産

- 耕作放棄地を活用し、新たに果樹栽培（桃・梨・イチジク）を実施。

＜果樹の栽培面積＞



＜果樹の収穫量＞



桃

梨

イチジク

特産品の創出による所得向上

- 商品化へ向けてタケノコ味付け煮を試作。今後、店舗販売や食堂での食材としての活用を検討し、需要拡大を図る。



タケノコ味付け煮試作品

雑草抑制技術の確立による有機米生産の省力化・収量増・生産拡大の実現

おおさき かみまち
【宮城県大崎地域】（加美町）

元気な地域創出モデル支援					
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興
			複合経営・ 半農半Xの実践		

【地域の現状・課題】

- 加美町では、J A 加美よつば有機米生産部会の生産者を中心に、長期に渡り有機米栽培に取り組んできたが、取組者がなかなか増えない状況。
- 有機米生産において、雑草対策が大きな課題。
- 雑草抑制技術を確立することで、有機米生産に取り組む農業者の拡大を図る。

【地域の位置】

【宮城県大崎地域】（加美町）

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

深水管理を数値で明確化することで管理技術を確立

【元気な地域創出モデル支援】

- J A 加美よつば有機米 生産部会が生産している加美町内の有機米の生産圃場3ヶ所（計約90 a）において、令和4年7月11日から約60日間、土壌の還元電位（Eh）を測定し、数値により深水管理を実施し雑草抑制の実証を行った。



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

実証データを蓄積し有機米生産者の拡大促進

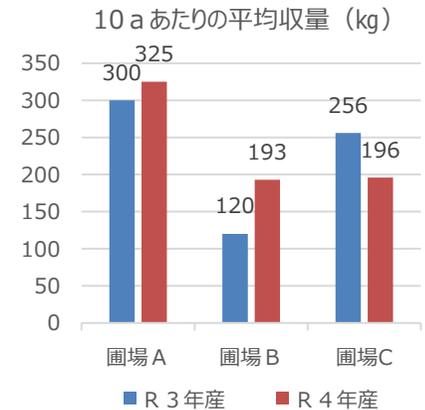
- 令和3年度に雑草対策の実証試験を実施した結果、有機米生産に関心をもつ農業者を新たに10名確認し、有機農業生産拡大を牽引し得る人材は30名となった。
- 令和4年度に実証データを活用して技術普及に努めた結果、有機米生産に関心をもつ農業者を新たに1名追加した。



事業の効果

雑草の発生抑制の実現と収量が増加

- Ehが-200mvとなるように深水管理を行ったところ、例年と比べ雑草の発生抑制に効果があった。特に、初期の深水管理が雑草抑制に重要であることがわかった。
- これまで感覚的に行ってきた深水管理を数値で明確にすることで、管理に役立てることができるようになった。
- 1つの実証圃場では、除草作業を例年の3回から1回に減らすことができ、労力の削減に繋がった。
- 2つの実証圃場で収量が約1.1～1.6倍に増加した。
- 1つの実証圃場で収量が減少した理由は、雑草が多発したことが影響したものと推察される。



地域特産野菜「鹿角松館しぼり大根」の生産活動を通じた地域の活性化について

かづの かづのし こそかまち
【秋田県鹿角地域】（鹿角市、小坂町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 鹿角地域は、秋田県の北東端にあり、青森・岩手・秋田3県のほぼ中央に位置している。山岳丘陵地帯に盆地が形成され低地を流れる米代川を中心とした流域に耕地が拓けている。
- 典型的な内陸性気候で、畜産が盛んである他、夏季の涼やかな気象を活かして、野菜や果樹の複合化が進められている。
 (耕地面積の田の割合：73.8%)(鹿角市)
 (令和2年 米の産出額：2,570百万円)
 (鹿角市)
- 世界農業センサス2020において、農業経営体数および農業就業人口が減少しており、高齢化が進行している。そのため新規就農者の確保、生産力の維持が重要な課題である。
 (令和2年 65歳以上農業従事者率：66%)

【地域の位置】

秋田県鹿角地域（鹿角市、小坂町）
 (指定地域：過疎、振興山村、特定農山村等)



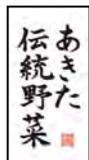
鹿角地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

生産者・自治体参加型の業務加工用商談会や県内販売促進活動

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 生産者・自治体参加型の業務加工用商談会や県内販売促進活動にG I 認定を受けたことを機に、「あきた伝統野菜ブランド」として、他の地域特産作物と合同で県内外でP R活動を展開し、更なる認知度向上を図るとともに、実需者の意向を把握し、販売促進活動を推進。



生産・販売

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
 (優先枠等)

大区画ほ場整備による、生産基盤の確立

- 大区画ほ場整備等により生産基盤を改善し、農地中間管理機構を通じて担い手への農地集積・集約化を進め、地域特産の高収益作物の導入による農業所得の向上を図る。【農業競争力強化農地整備事業】



地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 地域資源の保全管理体制の強化・充実、鳥獣被害防止対策の推進など、地域を下支えする取組を展開
 【多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

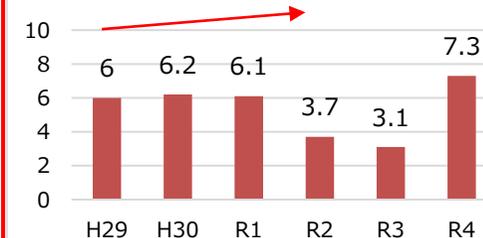
事業の効果

商談会の実施による取扱店舗数の維持及び収穫量の増加



H30以降は取扱店舗の増加は見られないものの、取扱店舗数が維持されていることから、一定の認知度及び需要があると考えられる。

鹿角市内における鹿角松館しぼり大根の収穫量(t)



商談会を実施したH30に収穫量が微増したが、R2及びR3は天候不順に伴い収穫量が半減した。R4は当該地区のほ場整備が完了したため、収量の増加に貢献した。

美しい自然環境など地域資源を活かした観光コンテンツ開発と農都交流事業のさらなる充実

おきたま いいでまち
【山形県置賜地域】（飯豊町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 飯豊町は町の全域が中山間地域に区分され、美しい農山村の景観や自然環境が魅力。「日本で最も美しい村」連合に加盟している。
- 全国的な少子高齢化の動向に加え、都市部への人口流出も伴い、人口減少が急速に進行している。農山村の景観・自然環境、地域に受け継がれてきた伝統文化、さらには、地域コミュニティの維持も困難になりつつある。
- 地域の担い手を確保しながら、地域資源を活かして、美しい景観や豊かな農山村地域等の維持・保全が必要。
- 地域の魅力を再発見し多様な資源を活用し、特産品や体験型観光等の充実を図ることが必要。また、研修等により町内宿泊・観光施設の品質向上を図り、都市農村交流のさらなる充実を目指す。

【地域の位置】

【山形県西置賜郡飯豊町】

（指定地域：過疎、振興山村、特定農山村、特別豪雪地帯）



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源の魅力再発見・都市農村交流の促進

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 町内観光施設の品質向上、またグリーンツーリズム促進を目的とする研修会及び講習会等の開催

【元気な地域創出モデル支援】

- 温泉施設・物産館への壁面パネル設置、中津川地区内の誘導看板設置、中津川ジオサイトホームページの作成



取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

農都交流事業の実施・体験コンテンツ開発等による地域活性化

- 国立大学法人東京外国語大学と相互協力協定を締結し、「スタディツアー」を実施。
- ルネッサンス事業を活用した新たな体験コンテンツおよび町内宿泊施設の新メニューの開発。コロナ禍でも交流活動を継続するため、オンラインを活用した農都交流イベントの開催。
- 地区内に点在している「中津川ジオサイト」の資源整理、ホームページやマップ等の整備、案内看板の設置。



地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

グリーンツーリズムの促進及び支援

- 農産物等販促事業等のイベントやアンテナショップを活用した交流事業の開催を実施する団体へ、町から支援

【めざみの里グリーンツーリズム推進協議会補助金】



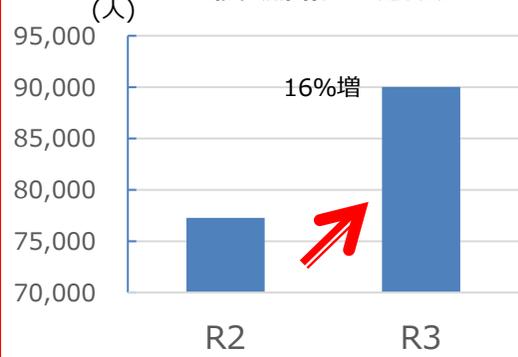
H31高円寺（東京都）交流事業

事業の効果

体験コンテンツ創出・関係人口の増加

- コロナ禍でもオンラインを活用して農都交流イベントを継続し、スタディツアーや農産物等の販促などといった交流事業を実施。令和3年度に実施したオンラインキッチンではアンケートに回答した23人全員が関係人口になることを希望した。
- グリーンツーリズムの参加団体が増加。また、更なる促進のため、令和3年度スキルアップ研修会を実施した結果、研修参加団体の入込客数が前年度に比べて増加。

研修参加団体の入込客数

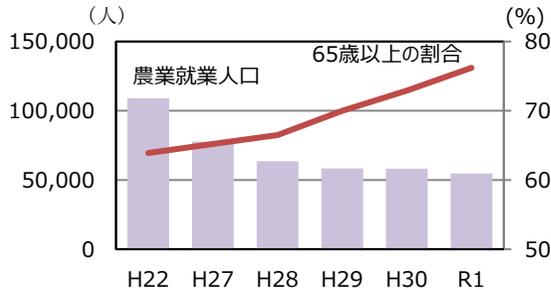


- 中津川ジオサイトの整備により、ジオサイトに関心のある観光客からの問い合わせや来町が増え、着地型観光へとつながった。

【地域の現状・課題】

《農村地域における高齢化と農業後継者不足》

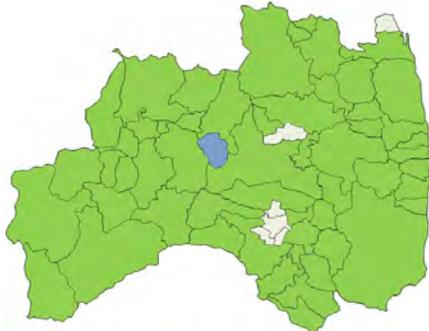
- 県の農業就業人口は10年前の約半数。
- 県の人口に占める65歳以上の割合は年々増加しており、中山間地の主要産業である農業の従事者も高齢化が進行している。
(県の農業就業人口に占める65歳以上の割合 H22 : 63.9% → R1:76.2% (全国平均 70.2%))
- 農業の担い手確保や、農村の保全・地域活性化に向けた地域外人材の活用が必要。



【地域の位置】

【福島県】

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等]



※ 本宮市、鏡石町、泉崎村、中島村、矢吹町、新地町を除く53市町村

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域外人材との関係づくり、担い手育成・確保支援体制の確立

【元気な地域創出モデル支援】

- 本県農村関係人口の現状・課題等調査
- 首都圏在住者対象の関わりづくりワークショップ (県内取組紹介、グループ討論等)を東京都で開催
- 農村関係人口づくりに関する手引書の作成

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域内外の人材との連携による地域づくりに関する農村地域振興セミナーの開催
- 農村関係人口活用に向けた支援
 - ・ コーディネーターを配置してモデル地域における地域内対話を促進し、地域の魅力発掘や課題解決を支援。
 - ・ オンラインマッチングや交流会の開催。
- 就農希望者、新規就農者向け研修等の開催



地域内対話支援



就農希望者向け研修会

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

地域外人材の受入の促進、担い手の育成・確保

- 作成した手引書を活用して、農村関係人口の活用に関する研修の開催や地域支援を行い、農村関係人口の創出・拡大に取り組む地区が増加した。
- 具体的には、体験ツアー、田植えイベント、お試し移住等に取り組んでいる。
- 就農希望者や新規就農者向けの研修、就農相談対応、関係機関と連携した就農支援により、新規就農者が増加し、担い手の育成・確保が図られた。



農村関係人口づくりに関する手引書

事業の効果

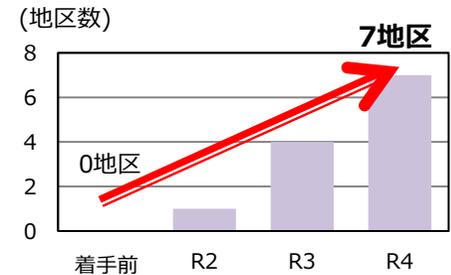
地域外人材の活用、新規就農者の増加

- 事業を通して、農村関係人口を活用した取組を行う地区数が増加した。



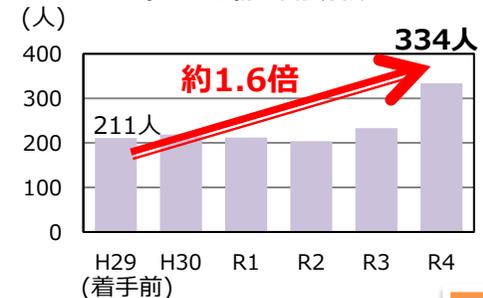
刈り払い作業の手伝い

＜農村関係人口活用取組地区数（累計）＞



- R4年度の新規就農者数は、過去最高の334人となった（着手前の約1.6倍に増加）。

＜年次別の新規就農者数＞



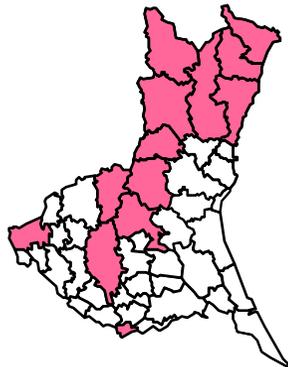
【地域の現状・課題】

- 本県の中山間地域の農用地面積(853ha)は、県内の農用地面積(125,100ha)に対する割合は約0.7%である。
- 中山間地域を含む市町村の農業産出額は県全体の約10%、農業従事者は県全体の約17%で、農業従事者における65歳以上の割合は約82%である。
- 中山間地域等直接支払制度を活用する集落では、人口減少や高齢化により集落協定そのものが減少傾向にあり、組織の維持・運営自体が困難な組織が多い状況。

【地域の位置】

【茨城県中山間地域等（ルネッサンス事業対象）】

[中山間地域等： 特定農山村、振興山村、過疎等]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域の創意工夫にあふれる取組みや支援制度の活用事例集の作成

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 耕畜連携による飼料作物の導入や農作業体験などの交流事業の実施といった中山間地域農業の推進事例集を作成



飼料作物の導入



地域での話し合い



農作業体験



聞き取り調査状況

中山間地域農業の優良事例集

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

優良な取組事例を活用した取組みの継続に向けた支援

- 作成した事例集を活用して、効果的な取組みを広く周知することで、中山間地域農業を活性化。
- 優良な取組を表彰し、地域活動の意欲を向上。



事例の紹介（耕畜連携による農地維持）



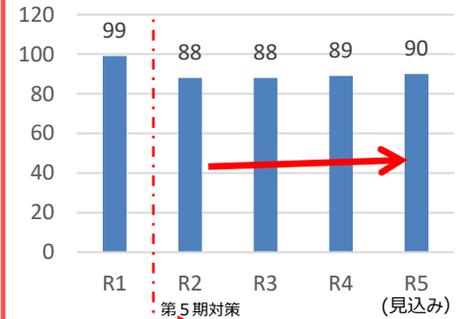
優良事例の表彰（県知事賞）

事業の効果

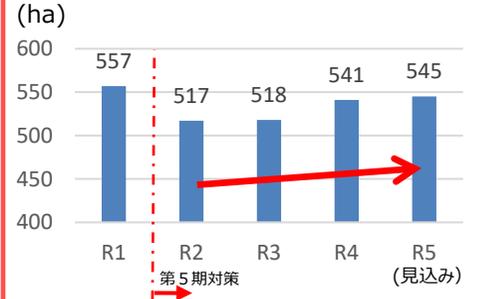
多様な地域の活動を維持

- 中山間地域等直接支払制度に取り組み集落協定数及び協定面積を維持

<中山間直接支払制度集落協定数> (協定)



<中山間直接支払制度集落協定面積> (ha)



多様な取組みの推進

【地域の現状・課題】

- 那珂川町の東部地区は水稻が盛んで“残したい栃木の棚田21”等の美しい田園風景を形成。
- 各集落では、中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産基盤の維持や棚田オーナー制度や農泊など、景観を活用した誘客に取り組んできた。
- 一方、高齢化・人口減少等により、農業をはじめ後継者不足が深刻化。
- 各集落では、中山間地域直接支払制度等事務負担の軽減、後継者の確保が急務。



集落ごとの話し合い

【地域の位置】

【栃木県塩谷南那須地域】那珂川町(東部地区)

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等】



東部地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地図システムの導入及び棚田地域のPR

【元気な地域創出モデル支援】

地域課題解決に向けた広域協議会化の取り組み

- ① これまで各集落で行ってきた事務を広域化により一本化するとともに事務負担の軽減を図るため、地図システムを導入。
- ② 高齢化・人口減少対策として、那珂川町の棚田地域の魅力を地域で一体的にPRし、交流人口の創出・拡大、移住定住の促進につなげるため、地域の棚田PR動画制作。



地図システム



棚田PR動画

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

広域協議会の設立及び棚田地域のPR

- 棚田地域の農地保全及び地域資源を活用した地域振興を一体的に実施する広域協議会「那珂川町中山間地域活性化協議会」を設立。
- 棚田PR動画により、動画サイト、イベント等で那珂川町の棚田地域の魅力を発信。



設立総会



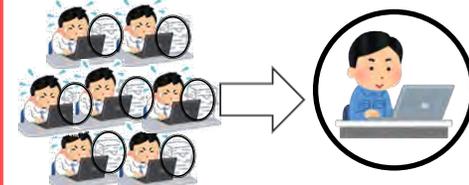
棚田PR動画の動画サイト掲載

事業の効果

棚田地域振興を目的とした広域協議会の設立及び交流人口の増加

広域協議会の設立に伴う効果

- ① 広域化による集約と地図システム導入により共同活動事務が効率化。



55集落協定

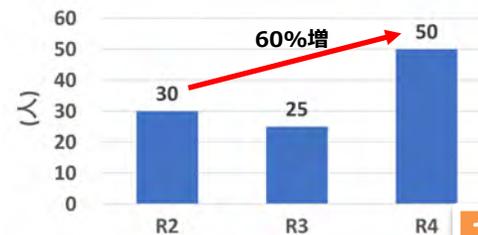
1広域協議会

- ② ドローン・法面草刈機等の省力化機械を導入し、共同利用。
- ③ 棚田米をブランド化し、共同出荷。
- ④ 地域で一体的にPRし、棚田オーナー制度の交流人口が増加。



棚田オーナー制度作業風景

〈棚田オーナー制度交流人口〉



古民家整備（空き家対策）や特産品開発を契機とした農山村活性化の取組

せいぶ かななまち
【群馬県西部地域】（神流町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 古民家の宿泊施設の他、山村体験の提供、恐竜センターや神流川での鯉のぼり祭り、溪流釣り、川遊び等に首都圏から観光客が来訪
- 伝統作物のアワバタ大豆、赤じゃが、柿など、少数多品目を栽培。自家消費が中心であるが、干し柿や味噌作りが盛ん。
- 高齢化・人口減少により、町全体が衰退（平成27年国勢調査：人口1,954人、65歳以上の割合56.1%）
- 農家数190戸のうち、自給的農家数は170戸（H27統計）。離農等による鳥獣被害、耕作放棄地の増加が懸念。
- 森林資源も豊富であるが、林業従事者確保が課題

【地域の位置】

【群馬県西部地域】（多野郡神流町）

〔指定地域：特定農山村、振興山村、過疎〕



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農泊地域の検討及び構想策定

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 神流町農山村活性化プロジェクト（他事業で整備した古民家の活用を検討、大学と連携して地域資源の発掘・利活用の検討）
 - ・ 専門家を招いて、地域の将来像を描くセミナーを開催
 - ・ 地域資源の活用事例について先進地視察
 - ・ 地域資源調査、将来像をもとに概略構想策定 等



古民家の活用を検討 商品開発(柿ペースト) セミナー開催 ワークショップ

地域のやる気・元気 × 交流人口の増加 × 農業等所得向上 = 持続的な発展へ

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

農泊地域として取組を実施

- 伝統作物（アワバタ大豆など）を生かした特産品開発を行うとともにブランド化を推進 【農山漁村振興交付金（山村活性化対策）など】
- 豊富な森林資源や森林空間の活用も含め、農泊の取組により町全体の活性化を推進
【農山漁村振興交付金（農泊推進対策、農山漁村整備対策）】



郷土料理作り体験

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

鳥獣被害防止対策による農地等の維持

- 鳥獣被害防止対策の強化など、地域を下支えする取組を展開
【鳥獣被害防止総合対策交付金】

事業の効果

関係人口等の増加

- 特産品加工（味噌作り）の体験講座の実施



味噌作り体験

- 古民家等を活用し、関係人口等が増加



※新型コロナウイルスの影響により、令和2、3、4年度は令和元年度に対して減少となった。

地域リーダーの育成による持続可能な中山間地域づくり

【千葉県】

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

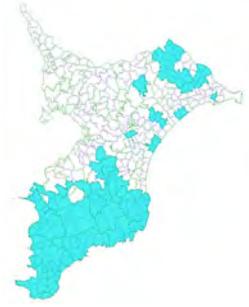
【地域の現状・課題】

- 千葉県は温暖な気候と首都圏に位置する恵まれた立地条件、さらに農業者の高い技術と意欲に支えられる農業県である。
- 千葉県では、令和4年度現在で24市町（一部指定を含む）が中山間地農業ルネッサンス事業の対象地域となっている。
- 令和2年の基幹的農業従事者数は平成17年に比べ43%減少、65歳以上が占める割合は15%増加しており、中山間地域においてはこの傾向が顕著となっている。
- これらの状況を踏まえ、農山漁村の活性化に向けて、地域住民活動を指導する地域リーダーや地域資源の活用に係る取組が必要である。

【地域の位置】

【千葉県】

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島振興、指定棚田、農林統計上の中山間農業地域]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農村の地域資源を活用した中山間地域づくりフォーラム等を開催

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 農村資源を活用した中山間地域づくり情報交換会や鳥獣被害対策フォーラム等を開催し、中山間地域の持続的な発展のための地域リーダーを育成

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

道の駅・直売施設を整備し、地域資源の魅力を発信

- 「道の駅木更津うまかつの里」や「道の駅保田小学校」などの交流拠点を整備し、農産物を直売することに加え、加工品・特産品開発等の副次産業化に向けた取組を展開 **【農山漁村振興交付金】**



道の駅木更津うまかつの里



道の駅保田小学校

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した農地保全を推進
- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開



共同草刈の様子

【多面的機能支払交付金（支援事業）】

【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】

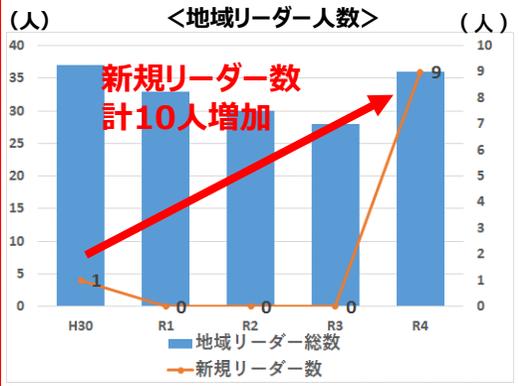
事業の効果

持続可能な中山間地域づくりを実現

- 中山間地域における地域住民活動を指導する地域リーダーを育成



地域リーダーの育成研修



- 多面的機能の維持・発揮を図る取組の活動面積の増加



宝の土から地域への郷土愛を育てよう！～大塚にんじんをつかった地域づくり戦略～

きょうなん いちかわみさとちよう
【山梨県峡南地域】(市川三郷町)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 大塚地区の農業は、水稻のほか、大塚にんじんやスイートコーン（甘々娘）、キウイ（レインボーレッド）などの生産が盛ん。
- 高齢化・人口減少により、農業をはじめ後継者不足が深刻な課題
 (基幹農業従事者の65歳以上が占める割合：80%（令和4年）)
- 担い手不足、人口減少により耕作放棄地が増加し、農業産出額も減少している。
- 大塚にんじんや甘々娘、レインボーレッドなどの特産品の生産が盛んであるが、発信力などが弱く、県内外の知名度が低い。



大塚にんじん

【地域の位置】

【山梨県峡南地域】(市川三郷町大塚地区)

[指定地域：特定農山村、過疎]



大塚地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域の個性や想いをつかみ関わりを横展開

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 基礎調査として、地域の関係者に取材し課題を洗い出し。
- 戦略調査として味覚の分析を行い強みを洗い出し、小冊子の作成、大塚にんじんのレシピ開発やイベントを行った。
- 市場の卸業者や飲食店にレシピを配布し地域の直売所とつなげることで売り上げ増を試みた。
- 推進調査として発信コンテンツや販促グッズを作成し、今後はSNS活用や高校生等との関係を築き、地域の魅力を発信していく。

取組内容の拡大

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
 (優先枠等)

地域の保育園児、小学生、中学生、高校生、県内の大学生との関わりを縦展開

- 地域の高校生を巻き込み【地域学】での味覚講話やテロワールの講話。フィールドワークを通じて興味を醸成。
- 関係人口創出として収穫体験や特産品を英語クイズにして交流。その様子を高校のマルシェで放映。
- 保育園児から大学生まで関わることで若者が希望の持てる地域づくり。



収穫体験英語で交流会の様子
 【青洲高校生】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

売上増で地域の共同活動が維持される

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金(支援事業)】



共同活動の様子

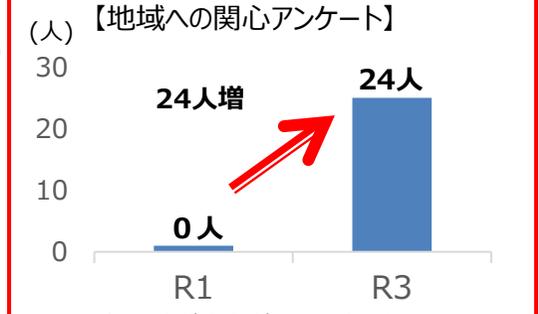
事業の効果

「おいしい」を数値化、見える化し販促に活用

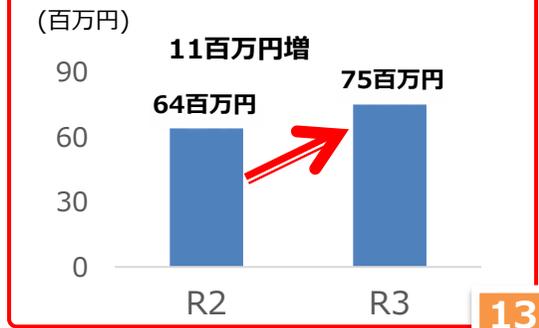
- 小冊子レシピ、チラシやポスターを作成



- 興味を持った生徒の人数



- 大塚にんじんなど、みたまの湯のつばい直売所総売上



地域資源を生かした農産物の高付加価値化による魅力ある農業の創出

かみいな いなし
【長野県上伊那地域】（伊那市）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 地域の高齢化率が進行
(高齢化率H23年：37%→R3年：43%)
- 人口減少、後継者不足等による
水田不作付地面積の増加
(水田不作付地面積H25年：834,920㎡
→R3年：841,830㎡)
- 在来農産物の高品質・高付加価値化
在来種ソバ
原種の不足・栽培技術の統一化
在来トウガラシ
生産者の確保・伝統野菜認定に向けた栽培
方法の統一化・商品開発

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域在来農産物の高付加価値化

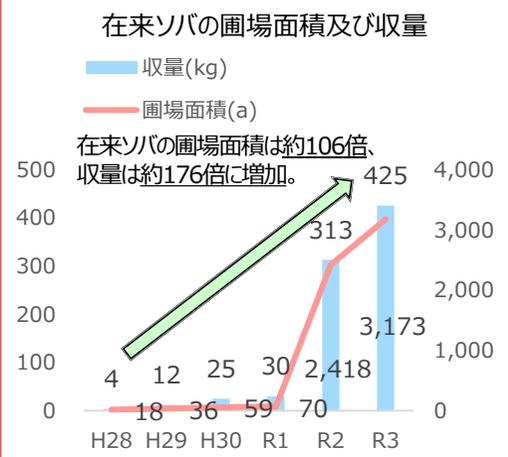
【元気な地域創出モデル支援】

- 在来ソバの研究・ブランド化
信州大学、入野谷ソバ振興会と協力し、種子の確保、商標登録・G I 等の出願・申請、増産・栽培面積拡大に向けた栽培技術の確立、栄養成分・食味分析等の研究。

そばの高品質、高反収確保を目的とした栽培指針の策定により、「プレミアム信州伊那ソバ」として市独自のブランド化の推進。
- 在来トウガラシの研究・ブランド化
辛味成分の分析、特性に合った加工品の試作等を通じ、伝統野菜への登録に向けた研究。

事業の効果

ブランド定着による圃場面積等の増



事業完了後の展開

【地域の位置】

【長野県伊那市高遠町・長谷地域】

[指定地域：過疎]



高遠町・長谷地域

実証事業の成果を活用した取組

地域在来農産物の販路拡大

- 研究結果を踏まえたそばの試験販売を実施。
- 地元そば店との連携による提供体制の構築。
- 在来トウガラシの商品化。
- フォーラムの開催による知名度向上、ブランド化施策の研究。



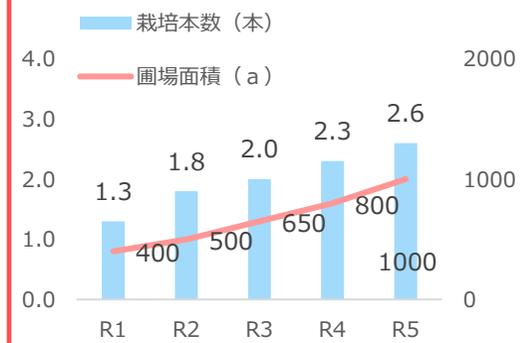
在来ソバ圃場



在来トウガラシ

- トウガラシ在来品種の圃場面積及び栽培本数は約2倍に増加する見込み。

在来トウガラシの圃場面積及び収量



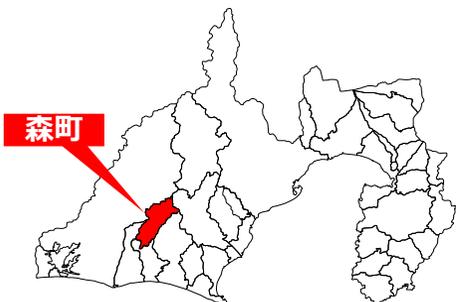
【地域の現状・課題】

- 天方地区は茶栽培が主体であるが、茶価の低迷や小区画・傾斜地茶園が多く、担い手及び生産量が減少
- 経営体の減少や高齢化により、地域の担い手確保が重要な課題
 (農業経営体 102経営体 (2005年) → 42経営体 (2020年))
- 農地の荒廃防止のため、栗、こんにゃく、ブルーベリー等の新規作物の導入が進んでいる。
- 半夏生(はんげしょう)の群生地に続く小径が整備され、見頃の時期には多くの来訪者がある。
- 景観や棚田等の資源を活かした都市住民との交流拡大や他地区と連携した誘客商品の開発が必要

【地域の位置】

【静岡県中遠地域】(周智郡森町天方地区)

[指定地域：特定農山村、振興山村等]



地域密着型農業者等サポート体制強化事業

地域景観を活かした交流拡大と誘客商品の開発

【コーディネーターの配置】

地元密着し商品企画に詳しいコーディネーターを配置し、都市住民との交流拡大、地域農産物を活かした新商品開発や既存商品の販売強化を実施

- 集落内の棚田で田植えや稲刈り、ブルーベリー収穫等の交流会を3回実施し、延べ85名が参加
- 半夏生の群生地に続く小径のライトアップ、SNS写真コンテストに65名、467作品の応募があった。
- 静岡県立農林環境専門職大学の現地調査演習を受け入れ、交流拡大や地域活性化方策を学生と一緒に検討
- ブルーベリービールに続き、規格外の梨から「梨麦酒「ペアビア」」を企画・製造し、1,840本を売



半夏生パンフレット



梨麦酒

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

交流活動の定例化と開発商品の継続販売

- 棚田交流会による農作業体験や、交流活動を継続して実施し、地域の活性化や移住促進に取組を実践した。
- 梨麦酒と既存のブルーベリー商品を町内観光施設を中心に販売し、町内や地域内への誘客拡大を推進した。



棚田交流会チラシ



ブルーベリースーツ3種



ビール

事業の効果

交流促進と販売拡大

- 棚田交流会の協力体制を整え、継続参加者は18名、その内2組3名が地区に移住した。



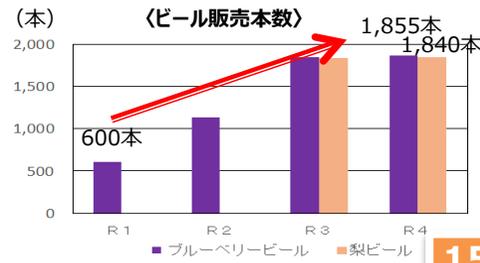
棚田交流会の様子

- 古民家を活かした交流拠点施設の整備を進め、わら細工や栗拾い等の体験メニューを試行した。



栗拾い体験(専門職大学演習)

- 梨麦酒と既存のブルーベリー商品(ビール及びスイーツ3種)を継続販売し、定番商品として定着を図った。



【地域の現状・課題】

- 農業産出額の大部分をコメが占める中、近年の米価低迷により農業産出額が低下しており、経営体の所得に影響を与えている。
- 農業の基幹である米の品質・収量の安定確保を基本に、新たな収入源の確保に向けた園芸作物の導入などによる経営体の所得向上が必要である。
- 地域活性化のため、地域資源を活用した特産品の発掘や6次産業化を推進するとともに、高付加価値化による販路拡大を推進するほか、グリーンツーリズムの更なる拡大に向けて、大人やインバウンド向けなどの魅力的な商品開発を勧める必要がある。

【地域の位置】

【新潟県上越地域】(上越市)

(指定地域：特定農山村地域、振興山村、過疎地域等)



上越地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

農産物の有利販売手法の知見を得る

- 中山間地域が生み出す農産物の収益性を高めるため、農業者自身が生産・販売に取り組む意識を醸成させ、農産物の有利販売に向けたマーケティング手法を学ぶ研修会を開催。

《取組概要》

商品のブランド化支援に取り組んでいる専門家の講演会を開催。
テーマ：選ばれる逸品への方程式！おいしい農産物×□＝ブランド化の可能性
内容：ブランディングの手法や考え方、スマート農業の展開や可能性

知見をふまえ取組を具現化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援 (優先枠等)

市単事業による中山間地域農業者の販売促進活動を支援

- 中山間地域の農業者等に対し、農産物等の営業活動、販売促進活動等に係る営業経費の一部を補助。

《補助事例》

パンフレットや商品パッケージを作成し、商談会に出展。インターネット販売やホームページで商品の周知等。



【市単：農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

持続的生産に向けた農地等の維持を支援

- 集落内の草刈り、水路や農道の維持等の共同活動を行うことにより、担い手が継続的に農業に取り組めるように下支えする取組を展開。

【多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

有利販売に向けた意識の醸成

- 研修会を通じて、自主的な農産物等の販売活動や営農の省力化への意識が醸成され、意欲が向上。



講演会の様子

- 米の商談会への出展参加やホームページの作成、商品のラベル作成等、中山間地域の農産物等の付加価値向上や販路拡大を実現。

件数 <農業者が自ら取り組む販売活動実施件数>



※市単事業「中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業補助金(H30~R3)」及び「農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金(R4~)」を活用

適切な排水対策の実施による新たな「にんじん」産地づくり

となみ なんとし ぶくみつ
【富山県砺波地域】(南砺市福光地域)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

○多くの農地が本暗渠未設置の水田であり、多くの経営体が主穀作中心で、園芸作物の栽培経験が浅いのが現状。



○機械化一貫体系が確立された品目を導入した、経営の複合化による経営基盤の強化が課題。

○持続的な産地育成を図るため、計画的な機械・施設の導入による栽培者・栽培面積増加が課題。

○地区内農産物の高付加価値化や販路の拡大による所得向上と地域の活性化が課題。

【地域の位置】

【富山県砺波地域】(南砺市福光地域：右黒地区、広瀬地区、広瀬館地区、福光地区)

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等]

右黒地区
 広瀬地区
 広瀬館地区
 福光地区

富山県

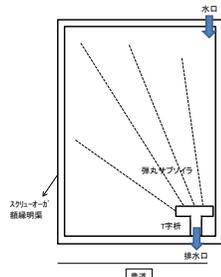


中山間地農業ルネッサンス推進事業

高収益作物の生産・販売力強化

【元気な地域創出モデル支援】

○ほ場条件の異なる各ほ場において、効果的な排水対策を実証した。
 (作付面積110a)



集水樹+弾丸暗渠+額縁明渠)の施工図



降雨後の効果

○J Aが中心となり、効率的なにんじん調製体制を整え、出荷品の均質化や計画出荷による有利販売を実証した。

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

栽培のマニュアル化による園芸作物導入促進

○栽培や販売の実証を踏まえ、生産者の育成と販売額の増加を図るため、栽培マニュアル作成、販売先を確保。



○実証結果を踏まえ、栽培条件に対応した排水路整備を実施。

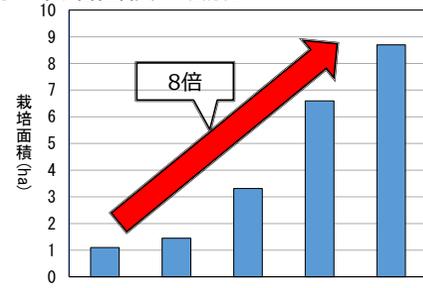


○経営体の収益性向上を図るため、排水路整備を実施した地域において、「にんじん」を導入。

事業の効果

にんじん栽培面積、販売額が増加

○栽培面積の増加



南砺市福光地域の栽培面積の推移

○製品重量・販売額の増加



南砺市福光地域の製品重量及び販売額の推移

○栽培者の育成



栽培研修会等の実施

農業参入を契機とした担い手間の連携による所得向上の実現

なかのと
【石川県中能登地域】 (中能登町)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践
--------------------------	--------------	-----------------	-------------	----------------	-------------	------------------

【地域の現状・課題】

- 近年、農業法人への新規就農者や農業への参入企業が増加。
- 農業所得向上のため、販路拡大等の取組支援が必要。
- 担い手の高齢化による後継者不足が問題。
(経営体数の減少339戸 = 2020農林業センサス(前回比32%減少))
- 農業者の減少、高齢化により老朽化した水路・農道等の維持管理に支障。管理費の増大が農業経営を圧迫。
- イノシシによる農作物被害が増大し、農業所得の減少と営農意欲の低下に拍車がかかっており、鳥獣被害防止対策の強化が必要。

【地域の位置】



石川県 中能登地域

(指定地域：半島振興、振興山村、特定農山村)

中能登町

中山間地農業ルネッサンス推進事業

高収益作物導入の検討及び実証試験

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域農業の新たな担い手となる参入企業と地域の担い手が連携し、販売ノウハウと販路の共有化を図り、地域ブランドの構築など、所得向上に向けた勉強会等を開催。



地域における勉強会

【元気な地域創出モデル支援】

- 高収益作物であるタラの芽の実証ほ場の整備及び生産・加工用機械を導入した生産体制の構築。
- 栽培スキルの向上や販路拡大のための講習・検討会を開催。

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援 (優先枠等)

地域の特徴を生かした付加価値の創出

- 大区画化が困難な水田では、湧水が多い谷内田地形の特徴を活かし、無農薬・無化学肥料によるブランド米への取組を開始。ブランドイメージアイコンを制作し、付加価値を創出。

【環境保全型農業直接支払交付金】



ブランド米 (直売所販売)



ブランドイメージアイコン

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

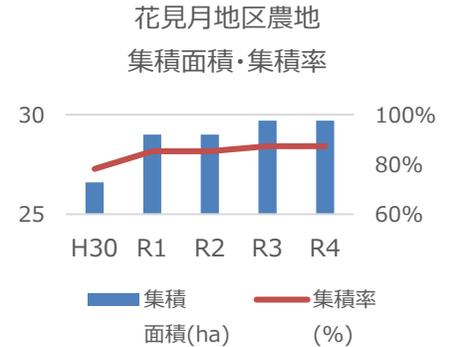
地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開。
【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域所得向上支援事業、中山間地域等直接支払交付金】

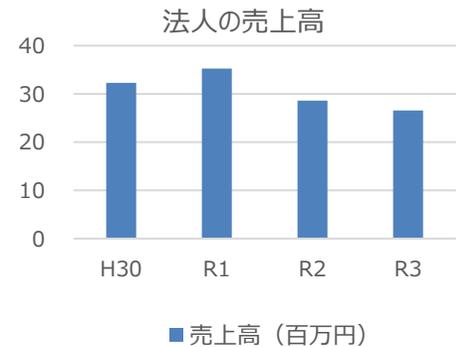
事業の効果

高収益作物の導入による儲かる農業の確立

- 担い手への集積率が地区農用地の9割近くとなっている。



- コロナ禍においても売上高をキープ



※地域の中心経営体となっている「農事組合法人能登花見月」決算資料による

新たな地域資源の創出と交流促進による中山間地域の活性化

たんなん さばえ えちぜん いけだちょう みなみえちぜんちょう えちぜんちょう
【福井県丹南地域】（鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興

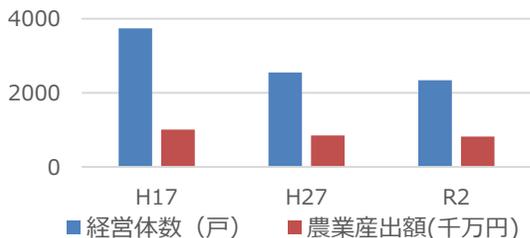
【地域の現状・課題】

【現状】

- 高齢化により地域の農業経営体数が減少
- 担い手不足や耕作放棄地の増加を懸念

丹南地区の農業経営体数と農業産出額

（出展 農林業センサス）



【課題】

- 条件不利地である中山間地域にて所得を確保するためには、里山里海湖ビジネスを推進させ、都市部との交流を図り活性化が必要

【地域の位置】

福井県丹南地域

鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町



中山間地農業ルネッサンス推進事業

ワイナリーを基盤とし、都市と農村との交流の促進させ、中山間地域の活性化を図る

- ふくいワインカレッジで醸造用ブドウの作付者、およびワイナリー開業者を育成
- 農家民宿・農家レストラン開業に向けた研修を実施「里山里海湖ビジネス」を推進
- 観光農園・農家レストラン・農家民宿等をめぐり、農村を満喫できる「農遊地域」づくりの推進と観光客を誘導できる人材（農遊コンシェルジュ）の育成



醸造用ぶどう栽培実習



農遊コンシェルジュ育成講座

実証事業の成果を活用した取組

農村を堪能できる「農遊地域」の創出



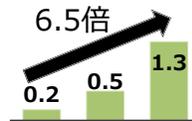
- ワイナリーを基盤とした中山間地域の所得向上と活性化
- ワイナリー見学ツアー、農家民宿・レストラン、農遊コンシェルジュによるイベント等をめぐり、農村を堪能する「農遊地域」づくり推進



事業の効果

丹南地域の地域資源の創出と交流人口

- ワイナリー開業
修了生がワイナリーを開業。R5年からワイン生産をする。

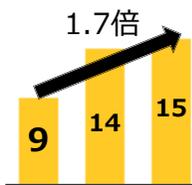


醸造用ブドウ作付面積 (ha)



ぶどう園

- 農家民宿・レストラン数(軒)



地域まるっと体験宿

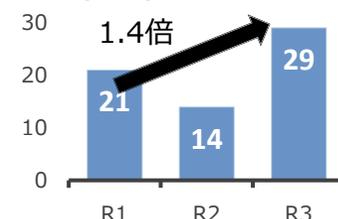
- 農遊コンシェルジュ 38名 (R4年)

地域資源を活用して、自発的にイベントなどを開催



米とうまいもまつり

- 交流人口(万人)



【地域の現状・課題】

- 高齢化・人口減少により後継者不足が深刻（基幹的農業従事者の65歳以上が占める割合：77%（平成28年））
- 農産物等直売所「きなあつ瑞浪」の開店から6年が経過し、農家の所得向上のためには農産物直売所等の魅力を高める必要がある
- 一部地域では、不整形で小区画な未整備の水田が多く、効率的な営農に支障
- 高齢化の進行を見据え、生産基盤を整備するとともに、担い手の確保、地域の取組体制の強化が必要
- 深刻な鳥獣被害防止対策の強化が必要

【地域の位置】

【岐阜県東濃地域】(瑞浪市)

[指定地域：特定農山村]



瑞浪市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

農産物等直売所利用拡大のためのコンサルティングの実施

- 「きなあつ瑞浪」のコンサルティングを実施し、直売所を活用した農家の所得向上と中山間地域の活性化を推進

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

高収益作物への転換と地元農畜産物の加工・販売

- 高収益作物への転換を可能とするため、担い手農家に集積する地区を対象に区画整理や用排水路整備などの基盤整備を実施。
【農山漁村地域整備交付金】
- 地元畜産物の加工品を製造・販売するため、処理加工施設・販売力強化施設を整備。魅力的な加工品販売を通じて、「きなあつ瑞浪」の販売額、来場者数及び瑞浪市交流人口の増加を図る取組を実施。
【中山間地域所得向上支援対策】



【加工品の製造】



【加工施設の整備】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠等）

地域の共同活動による農地の保全管理

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開
【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

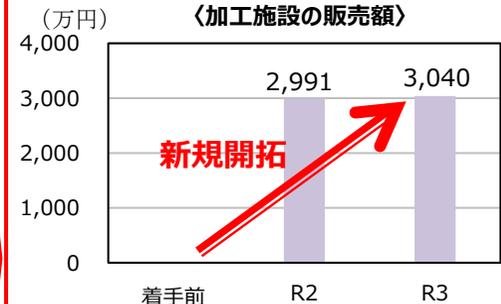


侵入防止柵の設置

事業の効果

瑞浪ポーノポーク加工施設の販売額の増加

- 瑞浪ポーノポークを使用したハム・ソーセージ等の加工品開発による販売促進。
- 加工施設の販売額は、3,500万円に増加する見込み。



耕作放棄地を活用した漆栽培とヤギ・被覆植物による除草作業の軽減

にしみかわ おかざし
【愛知県西三河地域】（岡崎市）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用		

【地域の現状・課題】

- 担い手・労働力不足、収益の減少などを理由に離農する農業者が増加している。
- 防護柵があるにも関わらず耕作放棄されている農地及び草刈が必要な傾斜地の畦畔は1.5ha以上ある。
- かつて三河漆の栽培地の一つであった岡崎市では、市内民間事業者において、漆の木の栽培から漆（樹液）の採取を行い、文化財への利用や加工品への活用による商品化が計画されている。
- 文化庁は「国宝・重要文化財の修復等に国産漆を使用する方針」を打ち出しているが、国内の漆消費量年間60tのうち、国内生産量は1.8t(H30)と僅か3%しかない現状であることから、今後、国内での漆の調達が急務とされている。

【地域の位置】

【愛知県西三河地域】（岡崎市額田地区）

[指定地域：特定農山村、振興山村、指定棚田]



岡崎市
額田地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

漆の産地化、ヤギの放牧やセンチピードグラスによる除草作業の軽減実証

【元気な地域創出モデル支援】

- 漆の植栽に際して、専門家から土壌改良や発芽率向上などの指導を受けた上で、技術指導研修会を開催し、発芽技術・栽培技術の確立を図った。
- ヤギを飼育する体制ができ、ヤギの放牧により除草作業の軽減を図った。
- 畦畔維持管理の省力化のため、センチピードグラスの吹付を1,725㎡実施した。



発芽技術・栽培技術の確立



ヤギを飼育し放牧



センチピードグラスが定着した畦畔

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

地域内の他の場所で事業実証成果を波及

- 地域内の他の耕作放棄地において土壌調査を実施し、育苗した漆の苗を植栽している。
- ヤギの飼育体制を確立させ、地域内の他の農地へ派遣する取組を実施。



育苗した漆の苗を植栽

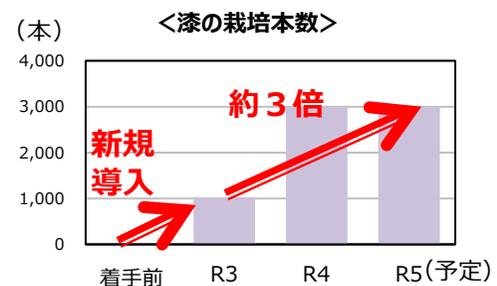


ヤギを他の農地へも派遣

事業の効果

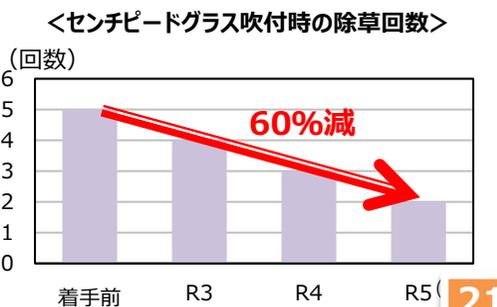
栽培技術の確立により栽培本数増加

- 実証事例について、実際に取組んだ手順等を事例として取りまとめ、市ホームページに掲載して発信を行った。
- 漆の植栽に際して、技術指導研修会を開催し、発芽技術・栽培技術の確立を図り、結果、事業初年度に漆の苗木を1,042本栽培することができた。今後、研究を継続し、栽培本数を3倍に増加させる見込み。



被膜が進むことにより除草作業が軽減

- ランナーの被覆が進むことで、今後除草回数が60%減少する見込み。



地域特産品のゆずを活用した6次産業化による販売力強化

まつざか まつざかし たきちよう めいわちよう おおだいちよう
【三重県松阪地域】（松阪市、多気町、明和町、大台町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 中山間地域では、大規模経営の確立が困難であるため、収益性が高く、加工特性がある野菜等の栽培を振興
- 地域の農業所得の向上に向け、地域資源を生かした作目の振興と6次産業化に取り組んできたが、高齢化により栽培面積及び収量に変化が生じてきたため、生産体制を再構築し安定した供給を確立することが課題
- 野生鳥獣の被害により生産意欲が減退しており、効果的な被害防止対策を講じるが必要
 （令和3年農作物被害額：2,324千円）

【地域の位置】

【三重県松阪地域】
 （松阪市、多気町、明和町、大台町）
 【指定地域： 過疎、振興山村、特定農山村、半島】



松阪地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源の有効活用

- 地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承を目的に町内農業者を対象に生産組織の立ち上げについての検討や栽培技術に関する研修会を実施した。

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

- 地域資源を活用した商品開発や、道の駅を核とした生産組織の育成を通じて、地元への経済効果発現に向けて発展させる取組を実施
- ルネッサンス事業の優先枠を活用して加工施設を導入。衛生的且つ効率的に加工品を製造できる環境を整備
- 人材確保のため、移住者への居住生活支援に加え、農業技術習得のための農業研修の実施やきめ細かい営農指導に取り組む
 【農山漁村活性化整備対策】
- 連携事業である山村活性化支援交付金を活用し、地域特産品の「ゆず」「ふき」を活用した商品開発と販路開拓の取組を実施
 【山村活性化支援交付金】



加工処理施設



移住者就農研修

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- サル・イノシシ・シカ等による果実や樹体の食害、農地損壊などの被害を防止するための対策（侵入防止柵の設置、捕獲の取組など）を推進し、農業被害を軽減
 【鳥獣被害防止総合対策交付金】
- 農地等地域資源の適切な保全管理を推進し、持続的に発展できる農業を下支え
 【多面的機能支払交付金】
 【中山間地域等直接支払交付金】



侵入防止柵の保守管理

事業の効果

農林水産資源の6次産業化

- 地域の農林水産資源を活用して様々な特産品を開発



マーケットに合わせたデザイン

- 販売促進の結果、柚子商品の販売額は、5割増加

柚子商品販売額（千円）



中山間地域の集落と企業や大学等が連携した、関係人口の創出と拡大の取組

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【滋賀県】

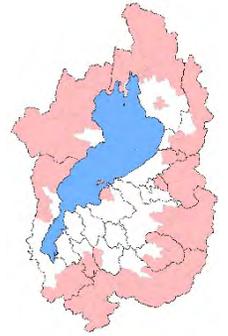
【地域の現状・課題】

- 滋賀県の耕地面積の90%以上が水田となっており、稲作が非常に盛ん。
- 高齢化・人口減少により、農業をはじめ後継者不足が深刻な課題。
(基幹農業従事者の65歳以上が占める割合：78% (令和2年度))
- 特に中山間地域では、高齢化・人口減少が顕著であり、それに伴う担い手不足や耕作放棄地の増加により、将来的に集落機能の維持が困難な地域もある。
中山間地域の高齢化率 H12年:20%→R2年:33%
中山間地域の人口 H12年から13%減少
- 農山村の持つ多面的価値を次世代に継承するため、地域資源を保全・活用する活動において、地域を牽引する役割を担うリーダーの確保が求められている。

【地域の位置】

【滋賀県】

【指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎、離島、棚田】



：中山間地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域リーダーの発掘・育成に向けた連続講座や研修会の開催

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 中山間地域の集落を対象に、地域のビジョン作成から実践、多様な人材の参画を目的とした連続講座「さとのかぜ倶楽部」を開催し、地域資源を活用するなど高度な取組を実践できる人材の育成を図った。
- 行政職員等向けの中山間の地域づくりに必要な知識・ノウハウを習得するための研修会を開催。



連続講座 (現地)

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援 (優先枠等)

多様な主体との連携・協働による関係人口の創出と拡大

- 中山間地域の集落と企業や大学等との連携を推進し、多様な主体との協働活動により地域資源の保全・活用を推進した。



【しがのふるさと支え合いプロジェクト (滋賀県独自) など】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農村地域の生産基盤・集落機能の維持のための取組を下支え。
【世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 (多面的機能支払交付金) (支援事業)】
【中山間地域等直接支払交付金 (連携事業)】



共同活動

事業の効果

協働活動を通じた農村の地域資源の継承

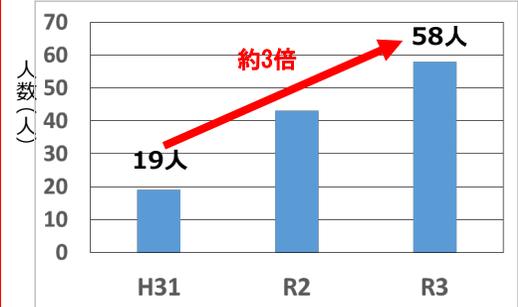
- 多様な主体と連携する集落が増加し、中山間地域が活性化した。
協働活動の取組実施数：23 (R4)



協働活動の様子

- 地域リーダーが育成された。

＜さとのかぜ倶楽部員数の推移＞



- 中山間地域で農用地が保全された面積が増加した。



米・そば・にんじんのブランド化と農商工連携等による地域商社づくりの取組

ことう たがちよう
【滋賀県湖東地域】(多賀町)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興 複合経営・ 半農半Xの実践

【地域の現状・課題】

- 山間部の集落では、農業従事者の高齢化により担い手が不足。また、栽培条件の不利性（勾配、小区画等）により、生産性が低い。
- 2015年7月に多賀町特産物振興連絡協議会を設立し、「米、そば、にんじん」など特産物の高付加価値化・ブランド化に向けた検討を開始。
- さらなる所得向上を図るためには、B級品の加工を含めた6次産業化による付加価値向上や販路の拡大等に取り組むことが必要。
- 多賀スマートインターチェンジの開設（2022年予定）に併せ、各種支援事業を活用して、農業を核とした更なる産業振興を進めることが必要。
- 野生獣による農作物被害は、侵入防止柵の設置により減少しているものの、柵の不備箇所等からの侵入により、依然として被害が発生しており、更なる被害防止対策を進めることが必要。

【地域の位置】

滋賀県 湖東地域



(指定地域：特定農山村地域、振興山村等)

多賀町

【滋賀県湖東地域】(多賀町)

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域産業の活性化を目指した計画の検討

- 担い手農家への対面方式による意向調査をベースとした、自然や歴史、文化など地域産業全体が一体となって活性化を目指す「林・農・観による多賀町再生計画」の検討。
- 米のブランド化にむけ、先進農家の営農指導による品質向上と高位平準化を図った。



関係者による検討会



研修会の開催（リモート）

検討をふまえた取組

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

農産物加工施設の整備と販路開拓の推進

- 今後、農産物の高付加価値化に向け、農産物の集出荷施設や加工施設を整備予定。
 - これと併せて、多賀農業のブランディング、生産・加工・流通・販売の調整、町内商工観光業者との連携、広報・販路開拓を推進する地域商社の設立を目指す。
- 【強い農業づくり交付金など】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域ぐるみの鳥獣被害対策による営農環境の整備

- 集落ぐるみによる鳥獣被害防止対策（侵入防止柵の補修・点検、捕獲器の導入など）を進め、サル・シカ等による農作物被害を軽減し、生産意欲の向上を図る。
 - 地域資源の良好な保安全管理や条件不利地の営農支援等を推進し、安心して農業や関連事業を展開できる環境を整備し、地域を下支え。
- 【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

ブランド米の試作や農福連携による商品開発

- 米のブランド化の取組
2018年からブランド米作り専門家の指導を受け、現在、農家によるブランド米の試作に取り組んでいる。



都心百貨店におけるブランド米試験販売

- 未利用にんじんの活用による農福連携の取組
未利用にんじんを活用し、農家と福祉施設の連携による商品の開発に取り組んでいる。



【地域の現状・課題】

【現状】

- 京都府では、中山間地域が耕地面積の約7割と多く、集落営農組織数は増加傾向にあるが、厳しい経営状況の組織が多い
- 過疎高齢化による農業の生産力低下と農村コミュニティの衰退が懸念される

【課題】

- 中山間地域の生産力及びコミュニティの維持に向けて、省力化等が可能となるスマート技術の効果を農業者に知ってもらい、生産現場へのスマート技術の現地導入を進める必要がある

【地域の位置】

【京都府】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域や農業者に適したスマート技術を紹介

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- スマート技術に関する相談員を設置し、技術導入に係る相談や地域相談会を実施
 - ・相談員による相談会等で152人に対応
- スマート技術の普及拡大のため、実践者や開発企業との技術展示・交流会を開催
 - ・遠隔農業に関する講演及び府内事例（ドローンによるそば播種作業の実証、ラジコン草刈機の実証など）紹介
 - ・地域のニーズにマッチしたスマート技術の展示（丹後地域：水稲、果樹園芸等に活用できる機器の展示）



収穫物運搬等に活用できる多機能ロボット



自動草刈りロボット



農薬散布ドローン

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

技術導入・経営改善を支援

- 相談があった事業者について、普及センター等の京都府農業応援隊を紹介し、引き続きスマート技術の導入や経営改善に向けた伴走支援
- 府のスマート農林水産業実装チャレンジ事業によりスマート技術導入を支援

事業の効果

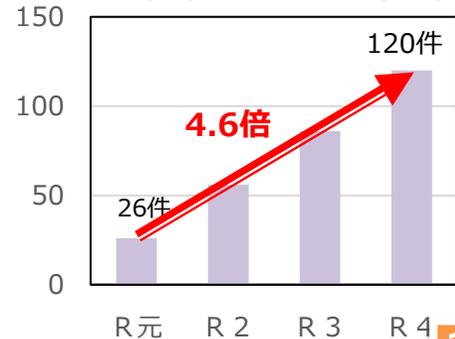
スマート技術の導入が促進

- 令和4年度は20人・団体が府のスマート農林水産業実装チャレンジ事業を活用し、直進アシストトラクタや防除用ドローンを導入。



- 他の府補助事業でもスマート技術導入に対する申請が増えており、本事業による普及啓発への効果が認められる。

(件) <府補助事業を活用しスマート技術が導入された数(累計)>



コウノトリ育む農法による農家所得向上への取り組み

たじま 豊岡市
 とよおかし 豊岡市

中山間地農業
 ルネッサンス
 推進支援

高収益作物
 の生産

高付加価値
 ・販売力強化

関係人口
 の増加

I C T技術
 の活用

棚田地域
 の振興

複合経営・
 半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

【地域の現状・課題】

- 豊岡市の農業は水稲栽培が中心
- 高齢化・人口減少により、農業後継者不足が深刻な課題
 60歳以上の基幹的農業従事者割合90%
 70歳以上の基幹的農業従事者割合66%
 (2020農業センサス)
- 高齢化から一斉にリタイアすることが考えられ、受け皿としての集落営農組織や認定農業者の育成、スマート農業による省力化、経営費のコスト低減が必要
- 高付加価値のコウノトリ育む農法による米の生産拡大を図ることで農家所得向上を図ることが必要

【地域の位置】

【兵庫県豊岡市】

[指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎等]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

コウノトリ育む農法拡大に向けた調査

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 区画整備やICTの活用等により、生産条件の改善が行われている先進事例調査
- 農家所得の向上に向けたマーケット調査
- 省力化に向けたICTの活用などスマート農業の事例調査



農業機器展示会視察

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

高付加価値作物（コウノトリ育む農法）の導入支援

- コウノトリ育む農法アドバイザーの設置及びアドバイザーによる指導
- 情報発信によるコウノトリ育むお米の販路拡大【市単独事業】



アドバイザーによる指導会の様子



販売促進活動の様子

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金（支援事業）】

【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

事業の効果

コウノトリ育む農法の栽培面積拡大

- 高付加価値作物（コウノトリ育む農法）の栽培面積の拡大

<コウノトリ育む農法の水稲作付面積>



コウノトリ育むお米

【地域の現状・課題】

- 県内の農村地域では、過疎化、高齢化が進み集落機能の低下、農業の衰退が課題となっている。
- 一方、地域住民による農村地域づくり活動が推進され、小規模ではあるが特色ある農産物の栽培や農産加工が手がけられている。
- それらは魅力ある地域資源として着目され、販売促進、土産物づくりへの活用が期待されているが、高齢化等により生産効率の低下や販売力の弱さが課題となっている。
- 少量多品目を生産する各地域が連携することにより、付加価値のある新たな特産品づくりに取り組み、地域活性化を図る。

【地域の位置】

【奈良県】(①奈良市、②山添村、③明日香村、
④下市町、⑤下北山村)
[指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎、半島]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源を活用した魅力ある商品づくり

【元気な地域創出モデル支援】

- 地域間の連携による農産加工
地域の農村地域づくり団体や農業者が手がける特色ある農産物から、農村地域づくり団体が農産加工としてエッセンスを抽出



レモングラス (下市町) ジャバラ (下北山村) 大和橘 (明日香村)

- 商品づくり (ブランディングと販売)
奈良の農産物を使ったキャンディづくり、販売を手がける飴専門店 (奈良市) と連携し、エッセンスを用いたキャンディを加工、県内 5 か所の直売所等で試験販売調査を実施



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

各地域で新たな商品として販売

- 地元特産農産物を使った新たな土産物として地域へ還元
- 波及効果を狙い、本地域の取組を他の地域づくり組織へ情報提供。



事業の効果

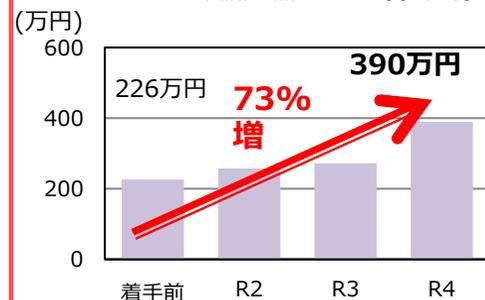
ブランディングと販売

- 販売調査によりパッケージデザイン、容量等を決定し、観光客を主なターゲットとして商品化



- 加工品の販売額が73%増加

<レモングラス加工品販売額 (下市町) >



コロナ禍により販売店舗への来客数が激減したことにより、他品目の販売は伸び悩んでいるが、本事業で得られた加工技術や消費動向を今後の販売増・販路拡大に活かすべく、取組が進められている。

高野山精進野菜の生産基盤確立及びブランド化や販路拡大により所得向上を目指す

【和歌山県伊都地域】(橋本市)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践
--------------------------	--------------	-----------------	-------------	----------------	-------------	------------------

【地域の現状・課題】

- 後継者不足と耕作放棄地の増加
 - ・高齢化・後継者不足による担い手の減少
 - ・農地の荒廃が進み、耕作放棄地が増加
- 特産品の育成及び連作障害対策
 - ・ブランド農産物の不在
 - ・連作障害等による生産が不安定
 - ・安定した生産体制の整備
- 鶏糞や食品系廃棄物の処理
 - ・養鶏業が盛んな地域
 - ・鶏糞の堆肥化等の対策が必要
 - ・剪定枝や規格外果実、柿加工に伴う残渣、菌床処理残渣等の未利用資源の活用不足

【地域の位置】

【和歌山県伊都地域】(橋本市)

[指定地域： 半島、特定農山村、中山間等]



橋本市

木喰応其上人の開いたまち

中山間地農業ルネッサンス推進事業

高野山麓精進野菜の生産性の向上及び販路拡大

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 「高野山麓精進野菜」の3つのコンセプト「歴史・伝統」「安全・安心」「美味しさ」を備えた野菜作りの普及促進に取り組む。
具体的には、生産力向上のための土壌改良法の検証と土壌改良資材の開発。
ブランド化や販路拡大等についての検証。



【元気な地域創出モデル支援】

- 土作り専門家の協力により、菌床残渣等を活用した土壌改良資材の開発と栽培実証のためのほ場を整備。
- 「高野山麓精進野菜」を活用した加工品の開発。
- 「高野山麓精進野菜」栽培技術の向上のための栽培マニュアルを作成。

事業完了後の展開

事業実証の成果を活用した取組

生産者の確保・土作りにより「高野山麓精進野菜」をブランド農産物へ

- 栽培マニュアルを活用した実践的な研修による生産者の確保。
- 鶏糞、マッシュルーム菌床、柿加工品残渣等の未利用資源を原料とした土壌改良資材の開発と実証ほ場での継続した取組による生産性の向上。



栽培研修会



栽培実証ほ (左 慣行栽培 右 実験栽培)

事業の効果

ブランド化による販売促進と生産者の確保

- ブランド化と加工品開発による販売促進



- ・ふるさと納税の返礼品として登録された「野菜ピクルス」と無農薬ゴマ豆腐「極」

- 野菜等農産物販売金額の増加



- 生産基盤の確立と研修等の実施による生産者の増加



未整備田の区画整理により、集落営農法人が農地集積と高収益作物導入でき 経営発展

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

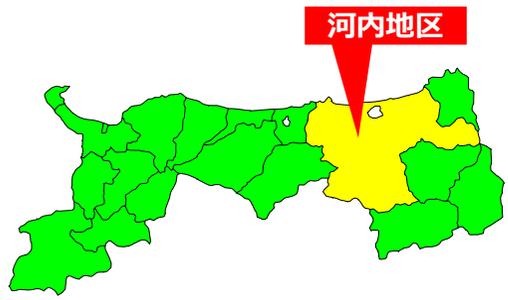
【鳥取県東部地域】（鳥取市）

【地域の現状・課題】

- 中山間地域の未整備田地区は、生産性が低いため、農家の高齢化に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加が大きな課題となっている。
- 未整備田の区画整理による生産性の向上と担い手確保のための集落営農の法人化を推進しているが、農業を継続していくためには経営の安定化と営農体制づくりによる所得確保が重要。
- そのためには、水稻と高収益作物を組み合わせた複合経営の確立と女性や後継者の参画を図り、集落一体となった営農体制づくりが必要。

【地域の位置】

【鳥取県東部地域】（鳥取市河内地区）
 [指定地域： 特定農山村、振興山村]



河内地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域の営農、将来の話し合いを支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 河内地区の人・農地プランの実質化に向けて、鳥取市人・農地推進チームが中心となり地元住民と一緒に取り組む
- ＜取組概要＞
 アンケート調査、集落・地域での話し合い、農地の集積・集約化の将来方針の作成、農地の集積・集約化計画及び営農計画の策定 等

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

法人を中心とした基盤・営農環境整備を支援

- 農事組合法人「河内こわらび」の設立
 - 未整備田の区画整理とセンチピードグラスによる法面省力化
 - 高収益作物のサトイモの生産拡大とアスパラガスの雨よけ栽培の開始
- 【農地中間管理事業】
 - 【農業競争力強化農地整備事業（中山間型）】
 - 【産地パワーアップ事業】



区画整理(20a区画)



センチピードグラス



雨よけ栽培施設の導入

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

集落機能を維持する活動を支援

- 法人を中心に自治会、消防団、婦人会、子供会が協働活動を実施。
- 柵やネットの設置・管理による鳥獣被害防止対策、農地集積による耕作放棄地防止対策、田んぼダム（雨水の貯留機能強化）取組の実施



子供達による田んぼダム堰板の設置



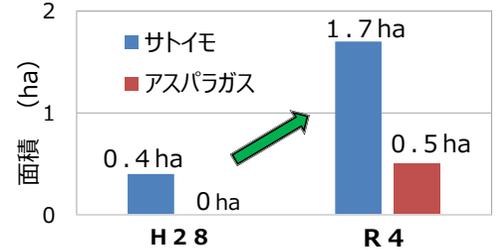
地域の収穫祭への参加

【多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金】

事業の効果

効率化で地域や世代を超えた交流が実現

- 集落営農法人を設立し、法人による農地集積が促進
 農地集積状況 (H28) 0ha → (R4) 9.88ha
- 農事組合法人「河内こわらび」の概要
 組合員19名 経営面積9.88ha (R4)
 水稻 7.4ha、サトイモ 1.7ha
 アスパラガス 0.5ha、落花生 0.25ha
 その他野菜等 0.03ha
- 高収益作物の生産・販売拡大による経営の安定化が図られ、構成員の所得確保が見込まれる。



- ・地元学校給食食材の供給、直売所出荷による地産地消に取り組む。
- ・アスパラガスはR4からの収穫・出荷が行われた。
- ほ場整備や法人化による効率化や消防団等との連携により余力が生まれ、体験農園や防災活動も活性化し、地域や世代を超えた交流が実現。



子供達の体験農園の実施

ほ場条件にあわせた I C T 技術の導入による中山間地農業の省力化促進

せいぶ おおだし つわのちよう
【島根県西部地域】（大田市、津和野町）

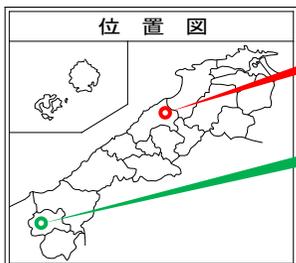
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 農業者の平均年齢は全国一高く、地形的に負担の大きい中山間地域を中心に耕作放棄地が増大
(耕地面積に対する耕作放棄地の割合：H7年：8%→H27年：19%)
- 集落営農の法人化が進み、農地集積も年々増加。法人経営体当たりの経営耕地面積が増加する中、農作業の省力化・軽労化が必要
(農地集積面積：
H17年：8,770ha
→R2年：12,834ha)

【地域の位置】

【島根県西部地域】
(大田市野城地区、津和野町中山・長福地区)
[指定地域：特定農山村、山村振興、過疎]



野城地区

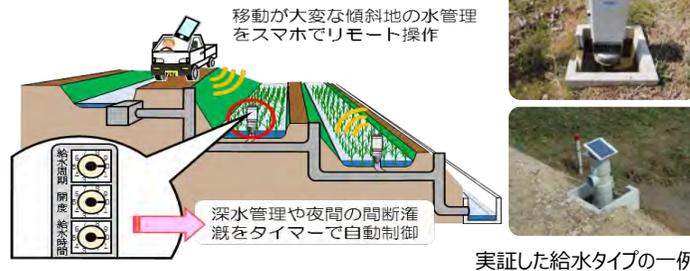
中山・長福地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

I C T 型自動給水栓の検証

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- ほ場整備中の地区においてルネッサンス推進事業を活用し、スマートフォンによる制御や法人事務所からの遠隔操作ができる自動給水栓を試験的に設置。
- 複数の地区でタイプの異なる給水方式を導入し、水管理労力の軽減等を効果的に実現する手法を検証。



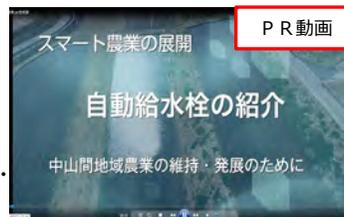
事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

I C T 技術の普及活動

- 検証結果を踏まえたマニュアルや P R 動画を作成。現地研修会の開催等を通じ、中山間地域農業の省力化に向けた I C T 技術の普及を促進。

【農地中間管理機構関連農地整備事業・農業競争力強化農地整備事業等】



事業の効果

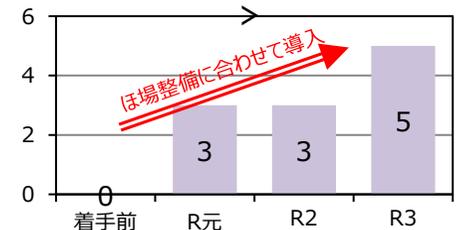
県内での取組地域の増加

- 作成した P R 動画やマニュアルをほ場整備予定の説明会や研修会において活用。
- 希望する団体等の現地視察を受け入れて、他の地域へ省力化技術を展開。



- 研修会・説明会等を実施したことにより、県内での取組地域が増加。

< I C T 自動給水栓の導入地区の状況



【地域の現状・課題】

- 笠岡諸島有人7島の個々の島には、独自の「モノ」やそれを作る「ヒト」の営みが大きな魅力
- 過疎・高齢化により担い手不足・イノシシ被害による地域産品の流通減少
- 笠岡諸島の農水産物の流通・販促のための陸地部への拠点整備（保冷施設・販売・情報）地域商社機能を持った組織の設立と、それを担う人材の育成が急務

【地域の位置】

【岡山県】(笠岡市)

【指定地域：一部離島】



笠岡市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

人材育成と笠岡諸島の魅力の創出

【元気な地域創出モデル支援】

- 笠岡諸島の物流拠点となる「笠岡諸島交流センター」の機能強化
- ・ミナトの休日（マルシェ）定期開催・保冷施設の整備



○ 地域商社的な役割を果たす人材の育成

- ・人材育成「みんなとチャレンジLAB」の開催（関係人口・担い手）



○ 情報発信のプラットフォームづくり

- ・かさおかブルーーツリズム（ホームページ・FB）
- ・情報発信の担い手育成（動画作成研修）
- ・地域資源動画作成及び体験ツアー－醸成（桑の実・エンドウ等の収穫体験）



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

笠岡諸島の玄関口としての港のにぎわい創出・情報発信拠点

- 「交流センター」の島と陸のハブ機能の構築
- ・島の特産品の定期販売
- ・島の情報提供のための「島展」等の実施（NPOかさおか島づくり海社）
- ・定期的な島へのツアー－醸成
- 島のNPOへのノウハウ移転



事業の効果

交流ハブとしての港の賑わい創出
農水産物の流通の仕組み構築

- 地域資源の発掘と販売促進
- 小飛島（エンドウ）
- 陸地部の市場への出荷体制の確立



- 白石島（桑の実）
- 港での原材料の供給
- ・グラノーラ・スムージーの開発（協力隊）
- ・桑の実アイスの試作（笠岡飲食店）

○ ミナトの休日の継続開催による港の賑わい創出

- ・「ミナトの休日」継続開催15回目
- ・「みなとチャレンジLAB」受講者によるイベント実施



ミナトの休日 第15回
2023年2月18日 10:00-16:00
会場：笠岡諸島交流センター（旧海軍倉庫）
岡山県笠岡市笠岡4-1-1 備中地区庁舎

○ 笠岡諸島交流センターの島づくり海社管理委託におけるノウハウ移転

- ・港での島の特産品販売
- ・島情報の発信（定期イベントの開催）
- ・島ツアーの実施

野菜の導入を見据えた基盤整備による経営の高度化

おのみち せらちよう
【広島県尾道地域】（世羅町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 高齢化に伴う担い手不足の解消やコスト低減のため、集落営農の法人化を進めてきたが、後継者育成や水稲に替わる園芸作物の導入等が課題。
- 地域の所得を向上させ、円滑な経営継承のために、基盤整備をベースとした経営の高度化が必要。
- 鳥獣被害防止対策は継続的に実施しているが、被害の増加により、生産意欲の低下を招いており、取組の強化が必要。

【地域の位置】

【広島県尾道地域】（世羅町）

【指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

集落営農法人の経営高度化のための取組

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 町内の集落営農法人間で情報を共有することで、強みを生かし、弱みを補完できる環境を整備するための研修会、視察等を実施

<取組概要>

- ・集落営農法人と園芸作物生産者による経営高度化のための研修会、視察
- ・機械利用の効率化など、集落営農法人の新たな連携の仕組みづくりを進めるための研修会
- ・有識者を交えた今後の集落営農のあり方についての講習会及びワークショップ



研修会

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
（優先枠等）

野菜の導入を見据えた基盤整備の実施

- 高収益作物である野菜の導入を見据えた区画整理、暗渠排水などの基盤整備を実施（基盤整備後、キャベツ、アスパラガス、白ねぎなどの作付を検討）

【農業農村整備関係事業（農地耕作条件改善事業等）】

【今後は、円滑な経営継承を促しつつ、さらなる生産性の向上、6次産業化による収益性の向上を促し、園芸産地をリードできる農業経営体となるよう経営規模の拡大、経営の高度化を推進する。】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域を下支えする取組による生産意欲の維持・向上

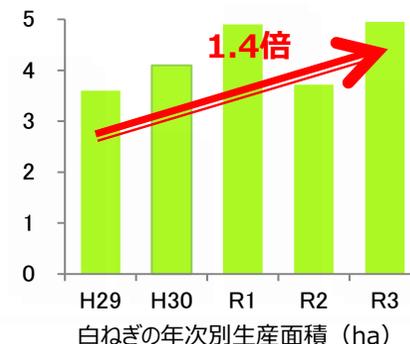
- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金等】

事業の効果

集落営農法人の経営高度化と法人間連携が進展

- 視察研修会の実施等により、白ねぎの産地化が促進
- 農地耕作改善事業の活用により、西大田地区で野菜導入を念頭にした暗渠排水工事を実施



- 小国地区で、4法人による法人間連携組織である「おぐにフィールド」を平成31年3月に設立
- ドローンによる共同防除や鶏糞を活用した地域資源循環米生産の取組を開始



おぐにフィールド設立総会

【地域の現状・課題】

- 県下唯一「日本の棚田百選」に認定された棚田であり、棚田×日本海×漁火の美しいコントラストで多くの来訪者を魅了。
- しかし、地域の高齢化が著しく地域活動の維持・継続が困難となりつつある。
(高齢化率 H17年：31.6%→H27年：39.7%)
- 更に、担い手不足、人口減少で耕作放棄地が増加し、農業産出額も減少。(農業産出額：H17年：646千万円→H27年：616千万円)

【山口県油谷地域】（長門市）

【地域の位置】

【山口県長門地域】（長門市油谷地域）

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等]

長門市油谷地域



中山間地農業ルネッサンス推進事業

棚田米のブランド化・情報発信による地域経済の活性化

【元気な地域創出モデル支援】

- 棚田米で生成された米粉を使用して新たな商品の開発・販売による地域経済の好循環化へ
→ 製粉機及び貯蔵機器を用いて、棚田米の米粉を使用した新たな商品開発を実施。
- 地域プロモーション動画等の制作により、魅力ある棚田地域をPRし、関係人口の拡大へ
→ 棚田地域に特化したプロモーション動画により、魅力ある棚田地域を広くPRし、関係人口が拡大。



東後畑の棚田



棚田米のビスコッティ

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

関係人口の拡大等による地域保全活動の維持・発展

- 関係人口を踏まえた農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組みを展開。

【美しい農村再生支援事業】



共同作業・景観保全の推進



案内看板の設置による観光客の誘引

事業の効果

米粉の販売量の増加と関係人口の拡大

- 棚田米を活用した新たな棚田関連商品の開発・販売により、棚田米の高付加価値化及び棚田地域を活性化

＜棚田米を使った米粉の販売量＞



- 棚田地域プロモーション動画の制作及びそれらを活用した周知活動の取組により、関係人口が拡大

＜関係人口（人数）＞



世界農業遺産を活かした持続可能な魅力ある地域づくり

あわ みまし みよし ひがし
【徳島県にし阿波地域】（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 「世界農業遺産」、「SAVOR JAPAN」、「観光圏」のトリプル認定を受けたブランド力を誇る地域。
- にし阿波地区の中山間部は、最大斜度40度になる地域で、段々畑にせず傾斜地のまま畑として利用し、そば、ヒエ等の雑穀を主とした栽培のほか、ごうしゅいも等の野菜を生産。
- 農産物の販売促進と併せ、農業と観光を組み合わせた地域所得の向上に向け、農泊を推進。
- 高齢化や人口減少により地域資源の管理が弱体化し、農業後継者不足により耕作放棄地の増加や野生鳥獣による被害が深刻な課題（基幹農業従事者の65歳以上が占める割合：81%（2020年農林業センサス））



【地域の位置】

【徳島県 にし阿波地域】（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）
 （指定地域：過疎、特定農山村）

にし阿波地域



中山間地農業ルネッサンス推進事業

「世界農業遺産」の認定を活かしたにし阿波型農業の振興

- 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】
- 世界農業遺産シンポジウムの開催。
- 世界農業遺産ブランド認証品の県内における販売促進
- 農泊経営者向けの研修会開催（体験メニューの向上）
- 「徳島・にし阿波 食と農の名人」認定

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

にし阿波型農業の進化（情報発信、担い手対策、食農文化の継承）

- 世界農業遺産シンポジウムのネット配信
- 農泊経営者向け研修会開催（衛生対策、SNS研修等）
- 担い手確保・育成（農業人フェアへの出展、農業研修会の開催）
- 高校生が「徳島・にし阿波 食と農の名人」に「聞き書き」の手法を用いて取材・記録【農泊推進対策】等



シンポジウム ネット配信



S N S 研修



農業人フェア



聞き書き作品集

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域住民やボランティアの共同活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開【鳥獣被害防止総合対策交付金】【多面的機能支払交付金】等

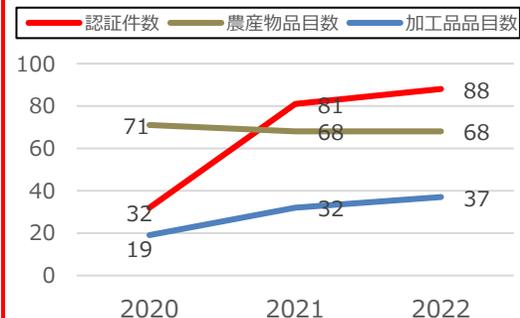


雑穀に防鳥ネット設置

事業の効果

にし阿波ならではの地域農業の振興

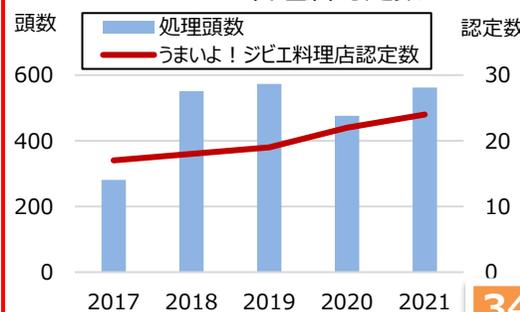
- 世界農業遺産ブランド認証件数の推移（2019年創設）



- JA、道の駅関連の産直市販売金額



- 野生鳥獣処理頭数及びうまいよ！ジビエ料理店認定数



【地域の現状・課題】

- 香川県の中山間地域は、讃岐山脈の急峻な山沿いや瀬戸内海の島々があり、温暖な気候を生かした幅広い形態の農業が営まれている。
- しかし、本県における基幹的農業従事者は18,190人と、5年前より5,802人（24.2%）減少している。また、平均年齢は71.3歳と高齢化が進行しており(2020農林業センサス)、過疎化も進んでいる。
- こういった状況が、地域コミュニティの低下や鳥獣被害の多発、水路・農道等の管理不足等を招き、荒廃農地の発生につながっている。
- そこで、本県の中山間地域の活性化を図るため、集落機能を維持するための手法や仕組みづくりの検討に加え、地域外との交流を増やす取り組みを支援する必要がある。

【地域の位置】

【香川県（全域）】

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、離島、棚田】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域活性化の成功要因の調査と研修会実施

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域ごとの人口推移の将来予測を行うとともに、人口減少を食い止め、前向きな取組み（広域連携、女性の役割確保、他産業との連携）ができていない地域4か所を選定し、その地域の成功要因を現地調査。
- 中山間直払協定、グリーン・ツーリズム及び農泊実践者等を対象に、地域活性化や担い手確保の手法についての研修会を開催。



現地調査



研修会

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

グリーン・ツーリズム及び農泊実践者への支援

- グリーン・ツーリズム実践者が都市との交流をより活発かつ効果的にする手法を検討する機会を提供するため、体験モデル企画を実施。
- 農泊施設の開業希望者向けに支援セミナー等を実施。また、既開業者を対象に料理教室を行うなど、農村地域の受入体制を強化。

【農泊推進対策（支援事業）】



グリーン・ツーリズム体験モデル企画



開業支援セミナー

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

中山間地域の集落機能を維持する活動への支援

- 中山間地域で行われる共同活動、農地の保全管理に対して支援し、将来にわたる集落機能の維持する活動を下支えする。

【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】

事業の効果

優良事例横展開と地域の交流の場づくり

- 優良事例集の作成・配布

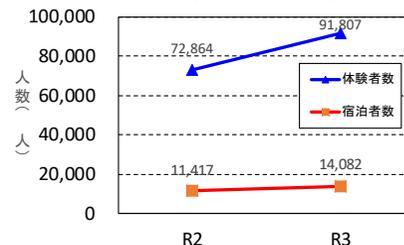
県内の優良地域4か所を紹介し、地域活性化成功のポイントを整理・横展開。



- 成功のポイントの一例

- ・外部からの人員を含めた月1回の定例会を開催し、地域の活性化に向けた多様な意見を出し合う場を設けている。
- ・地域内外の幅広い世代を対象とした農業体験等の実施。
- ・地域のNPO法人が農業、移住定住及び環境保全活動など幅広い分野を横断した取組みを行っている。

- グリーン・ツーリズム交流人口（体験・宿泊）



コロナで一時減少したもののいずれも増加。

- 支援を行い、開業した農泊施設数

年度	R元	R2	R3
開業数	10	3	6

研修の案内、個別相談等により開業を支

圃場整備及び高収益作物の導入等による所得向上

なんよ せいよし のむら
【愛媛県南予地域】（西予市野村地区）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 西予市野村地区は水田農業地帯で、水稻を中心にWCS、飼料作物、野菜などを生産
- ほ場が未整備（区画狭小、不整形）で、排水不良であるため、効率的な営農や高収益作物の生産拡大に支障
- 比較的小規模な農地が多く、担い手への農地集積が進んでいない状況
- 高齢化等の進行により、農地・施設等の適正な維持・管理が困難
- 安定した農業生産活動が行える農地の整備が必要

【地域の位置】

【愛媛県南予地域】（西予市野村地区）

【指定地域： 過疎、特定農山村】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

県及び市町等の関係機関が一体となった支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域別農業振興計画を踏まえた地域課題の解決策の検討
- 集落の話し合い等の活動促進や専門職員の現地派遣による助言

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
 （優先枠）

基盤整備と高収益作物の導入

- 区画整理、用排水施設の整備により水田の汎用化を推進
 【農地中間管理機構関連農地整備事業】



地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠等）

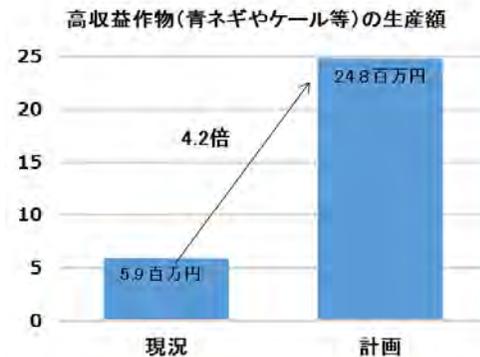
地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開
 【多面的機能支払交付金（支援事業）】
 【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

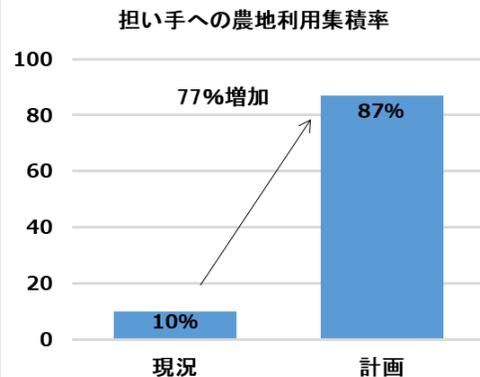
事業の効果

収益性の向上と担い手への農地集積

- 基盤整備した農地への「青ネギ」、「ケール」等の導入により、収益性向上



- 農地整備事業を契機として、地区内の農地を担い手に集積



【地域の現状・課題】

- 高齢化・人口減少に対応して、担い手の確保、地域農業を支える仕組みづくりが必要。
- 中山間地域の農地は狭小不整形・急傾斜など、生産基盤が脆弱であり、効率的な営農が困難。
- 【20年間（H7⇒H27）の動き】
 - 農業就業人口 約2.5万人減少（▲約48%）
 - 農業就業人口に占める65歳以上の割合 42%から59%へ増加（+17%）
- 被害額は減少傾向にあるものの、所得の減少といった、直接的な被害が及ぶため、鳥獣被害対策の取組強化が必要。

【地域の位置】

【高知県】（大川村を除く全域）

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島、離島、棚田】



中山間地農業ルネッサンス推進事業

中山間地域を支える経営体の経営力強化

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 中山間地域の農業を支える経営体(中山間農業複合経営拠点/集落営農法人)の事業戦略の策定からPDCAサイクルのフォローを、経営コンサルタント等の専門家が一元的に支援

<取組概要>

専門家がワークショップで経営体の課題と対策を整理



※中山間農業複合経営拠点は、中山間地域の核となる経営体（JA出資型法人、市町村農業公社、第3セクター等）で、地域で稼ぐ取組と地域を支える取組を複合経営する組織

- 集落営農法人の育成と経営強化及び組織間の連携を進めるための研修会などを開催

事業戦略の策定のフロー



事業戦略の策定・実行支援による中山間地域の農業を支える仕組みの強化

基盤整備と連携

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

生産条件改善のための基盤整備及び生産体制の確立

- 区画整理、暗渠排水など生産条件改善のための基盤整備の実施
- 中山間農業複合経営拠点、集落営農法人の組織化・経営強化による生産体制の確立
【農業農村整備関係事業、集落営農活性化プロジェクト促進事業 等】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

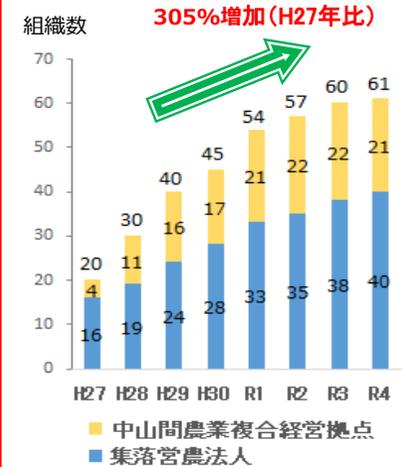
地域を下支えする取組による生産意欲の維持・向上

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、集落協定の広域化や多面的機能支払制度の実施面積拡大等による地域資源の保管理体制の強化・充実など、地域を下支えする取組を展開
【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

事業の効果

法人経営体の増加

- 中山間農業複合経営拠点、集落営農法人の数が増加することで、地域農業を支える仕組みが拡大



主力品目の生産条件の改善による付加価値化及び担い手確保による所得向上の実現

ちくごなんとうぶ やめし
【福岡県筑後南東部地域】（八女市）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 八女市はお茶、電照菊、いちご・冬春ナス・冬春トマト等の施設野菜、柑橘・キウイフルーツ等の果樹等の生産が盛ん
- 高齢化・人口減少により農業従事者及び担い手不足が課題
担い手（販売農家における経営者）の平均年齢64.5歳、65歳以上占める割合：51%
- 地区の主力品目である温州みかんについては、生産効率及び品質向上を図るため、生産条件の改善が必要
- 経営の安定化のため、法人化の推進が必要
- 高齢化等の進行により、集落が連携した鳥獣被害対策の強化等が必要

【地域の位置】

福岡県筑後南東部地域 八女市

（指定地域：過疎、振興山村、特定農山村）



八女市

中山間地農業ルネッサンス推進事業

集落説明会及び各集落にて実施検討

- 中山間地域における生産条件の改善に向けて、各集落での検討会・各種施策に関する説明会を実施
〈取組概要〉
6月に、237集落を対象に、鳥獣被害防止対策等の中山間地域振興に関する事項について、説明会を5回実施

取組を具現化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

中山間地域園地整備による生産性向上

- 農地造成と併せ農道、排水路、かんがい施設を整備（22.7ha）
- 園地整備の結果、機械化による労働力の削減、生産性の向上、安定した用水源の確保が実現

【農山漁村地域整備交付金（中山間地域総合整備型）】



園地整備



糖度を上げるマルチドリップ栽培

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域集落活動による農地保全管理の推進

- 鳥獣害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の強化など、地域を下支える取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金、多面的機能支払交付金】

【中山間地域等直接支払交付金】

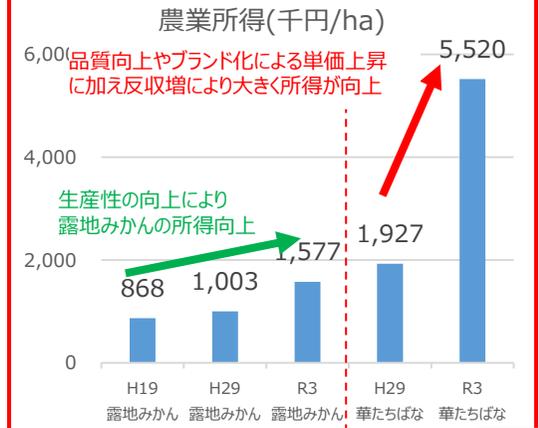
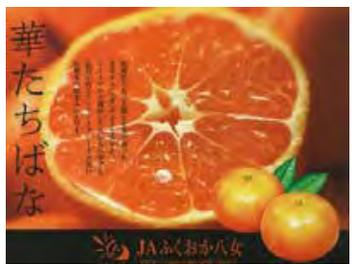


関係者による草刈り作業

事業の効果

ブランド化による農業所得向上

- マルチドリップ栽培により生産された高糖度みかんを「華たちばな」としてブランド化
- ブランド化による付加価値で市場の販売単価が上昇。地区の農業所得を押し上げることに成功。
- 鳥獣被害対策を効果的に組み合わせることで、出荷量及び販売額が増加し、農業者の所得向上が図られている。



※ J A 福岡八女資料及び八女市資料から算出

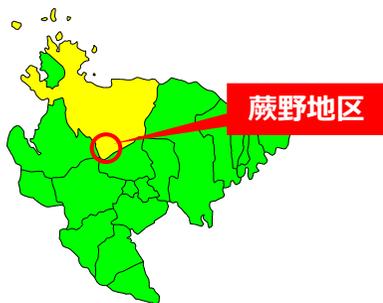
【地域の現状・課題】

- 蕨野（わらびの）地区の農業は、生活雑排水が流入しない環境と昼夜の寒暖差が大きいといった特徴を活かした水稻の生産が盛んである。
- 高齢化・人口減少により、担い手不足や耕作放棄地の増加などが深刻な課題である。
（地区の65歳以上が占める割合：55.2%（令和4年））
- 地域資源を活かした関係人口を増加させる取組を行い、棚田の魅力や保全活動の重要性を伝えていく必要がある。
- ブランド米である棚田米「蕨野」の更なる高付加価値化や販路の拡大による所得向上、地域の活性化を図ることが急務。
- 離農者が増える中、農地の耕作を支援するNPO活動だけでなく、荒廃から指定棚田を守る即戦力となる耕作者の確保が急務。

【地域の位置】

唐津・東松浦地域 唐津市相知町蕨野地区

〔指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等〕



蕨野地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

蕨野の棚田に行きたくくなるような誘導看板を集客施設などに設置

【元気な地域創出モデル支援】

- 唐津市内の集客施設、観光地に、蕨野の棚田の四季折々の風景を掲載した看板を設置し、年間を通じた誘導を実施。
 - ・都市住民向けの大型直売所
 - ・地元の直売所 ・道の駅
 - ・観光地の駐車場
- 来訪者に興味をもってもらい、気軽に散策いただき蕨野の棚田をより身近なものに感じてもらうため棚田の直売所付近に散策マップを設置。写真撮影の参考になるよう農作業のスケジュールも表示。
- 日本一の高石積みの案内看板や、展望所の表示看板を設置し、撮影スポットを表示。



道の駅 蕨木



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

地域の魅力を活かした関係人口の増加や棚田米「蕨野」の販売促進

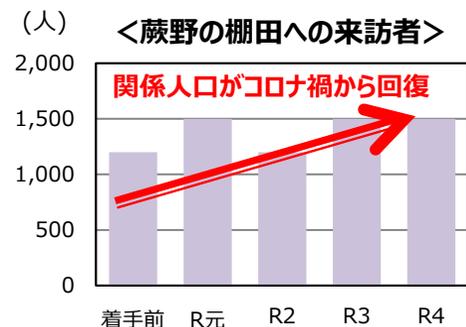
- 今回設置した看板や情報発信により、蕨野の棚田に興味を持つ人が多くなり、コロナ禍からの回復に伴い関係人口も増加してきている。
- コロナ禍によりイベントが開催できず棚田ファンを増やすことが難しい状況ではあるが、蕨野の棚田の情報発信やブランド米である棚田米「蕨野」の販売促進に努めている。



事業の効果

関係人口の増加と販売促進

- 蕨野の棚田をより身近に感じてもらうことで、イメージアップが図られ、来訪者の増加につながっている。情報発信やイベントの再開などにより、関係人口がコロナ禍前から回復してきている。



- 棚田米を利用した更なる加工品の開発と販売促進へ発展。



棚田米を使ったサイダー・せんべい

- 少量パックを作り、都市部でのイベントで販売するなど、棚田米「蕨野」の完売を目標に情報発信を行い販売促進へ。

直売所を核とした地元農産物の加工品開発や生産現場の情報発信強化などによる地域の活性化

【長崎県】

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					複合経営・ 半農半Xの実践
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興	

【地域の現状・課題】

- 長崎県は、ばれいしょ、いちご、アスパラガス、みかん等の栽培が盛ん。
- 高齢化等により集落機能、所得確保力の衰退が課題となっており、地域内の販売交流拠点である農産物直売所の機能強化による集落の維持・活性化が急務。
- 農産物直売所の数は出荷者の高齢化等により減少傾向にある。(H27: 156店舗、R3: 140店舗)
- 農産物直売所の販売力強化や交流人口の拡大により地域の所得向上、雇用の確保等による地域の活性化を図る必要がある。

【地域の位置】

【長崎県】対象地域：全域

[指定地域： 特定農山村、過疎、半島、離島]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農産物直売所を対象とした研修会の開催、現地支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 直売所セミナーを開催して、優良事例紹介、視察研修、ワークショップ等を行い、販売力強化につなげている。併せて、専門家を直売所へ派遣し、直面する課題への助言や指導を実施。



直売所セミナー



現地指導

新規品目の導入・加工品の開発による販売力の向上

【元気な地域創出モデル支援】

- 直売所向けの新規品目導入(ミニ白菜)
- 地元の季節の果物を活用した新商品の開発
- 直売所やイベントの様子などをInstagramやYouTubeで発信



ミニ白菜



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

販売額向上・交流人口拡大による活性化

- 直売所向け新規品目の導入により、出荷者を新たに確保し、安定的な生産、出荷へ。
- 継続した情報発信による更なる交流人口の拡大。
- 支援を実施した取組をモデル事例として県内へ波及。



スイスチャード（学校給食への供給検討）



新商品の開発・定着による販売額UP



SNS活用の講習会

事業の効果

農産物直売所の人材育成・販売力強化・交流人口の拡大

- 県内の農産物直売所の売上は5年間で約1割増。

(億円) <農産物直売所の売上額(長崎県)>



- 研修会の開催や現地相談・支援による農産物直売所を支え、販売交流拠点へ発展させる人材の育成

	R3年度	R4年度
セミナー開催	3回	3回
参加店舗	42店舗	44店舗
参加人数	72名	87名

- 地元農産物を活用した加工品の開発による販売力強化。



旬の果実のフルーツサンド



旬のいちごのプリン

- SNSを活用した情報発信強化による交流人口の拡大

【地域の現状・課題】

- 佐野地区の農業は、水稻のほか、栗の生産が盛ん
- 農業従事者の高齢化・兼業化により、数十年前に整備された栗園の古木化・廃園化が課題（基幹的農業従事者の65歳以上が占める割合：63%（2015年農林業センサス））
- 基盤整備は行われたが小規模農家が多いため、個別投資はコストが高く困難
- 栗園の廃園改修・改植・新植を進め樹園地帯の設置と面積拡張による増収益を図ることが急務
- 流通ニーズに対応した栗の二次加工により付加価値を高めた六次産業化と地区内女性の活躍の場づくりが必要

【地域の位置】

【熊本県県北地域】（菊池市佐野地区）
[指定地域：特定農山村、指定棚田]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

栗の作業効率化・六次産業化による販売額の向上

【元気な地域創出モデル支援】

- 佐野地区の住民及び農業者等で設立した菊池佐野営農改善組合において、担い手への農地集積等を通じ、地域農業の振興と農業経営の改善を推進
- 栗の共同選果体制づくりのための選果体制フローや鬼皮・渋皮むき行程のマニュアル化により、佐野栗の高品質化とブランド化を推進
- 佐野栗を使った加工品として、皮むき生栗の冷凍品の開発や、栗ペースト、栗の甘露煮等を試作



栗の共同選果（水選果）作業



加工品の試作

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

産地一体となった生産・販売体制の構築

- マニュアルを活用した栗選果作業の実践により、地区外からの選果受託が決まり、安定した収益確保が見込まれる。
- 活動を通じ、栗剪定研修会への農家女性の参加や、地域高齢農家の選果作業参加など活躍の場が生まれた。



せん定講習会



地域高齢農家を雇用した栗選果

事業の効果

栗を柱とした儲かる農業の確立

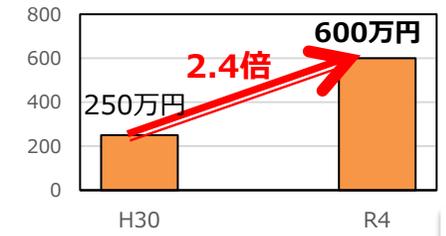
- 菊池栗プロジェクト連絡会議の設置・開催による関係機関の取組みが強化（構成：JA、物産館、農業者組織、コンサルタント、市県）
- 新規農家数・栽培面積が増加し、産地の若返りが進む。

＜栗栽培農家数と改植・新植面積の推移＞
（菊池地域）



- 栗生産を柱とした中山間営農組織の経営安定化と産地ブランド力向上が図られる見込み。

＜栗選果販売額の見込み＞



【地域の現状・課題】

- 平野部、中山間地域部でそれぞれの特色を活かした営農が展開されているが、農業者の高齢化が進行
- 一部地域では小区画、不整形、排水不良のほ場があり、集積・集約化及び経営規模拡大の障害となっている
- 水田の畑地化によるブランド作物の産地拡大を目指している（大豆、白ねぎ、ぶどう等）
- イノシシやシカ等の鳥獣被害額については、減少傾向にあるものの依然高水準となっており、被害対策が急務となっている

【地域の位置】

大分県 北部地域

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等]



北部地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

新規担い手確保の検討及び推進

【中山間地農業ルネッサンス推進事業】

- 新規担い手確保のため、農業団体等を対象とした説明会を開催するとともに、所得向上や担い手の定着に向けた活動や体制整備等への取組を実施。

基盤整備との連携

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

農地整備や集積・集約化し、多様な担い手の確保・育成を推進

- 農業集落法人等の担い手への農地の集積・集約化と生産コストの削減に向けた基盤整備や、水田の畑地化・汎用化による園芸品目の産地拡大、多様な担い手の確保・育成を推進。

【農山漁村地域整備交付金等】



パイプラインの整備



水田の汎用化

- ・排水不良を改善し、水田の畑地化・汎用化を推進
- ・水路（パイプライン等）の整備により維持管理を省力化し、生産コストを削減

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

農地整備や集積・集約化し、多様な担い手の確保・育成を推進

- 侵入防止柵の管理、耕作道や周辺林地の草刈り等を共同で行い、鳥獣害防止対策の取組を強化する
- 水路や農道等の地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金、鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金等】

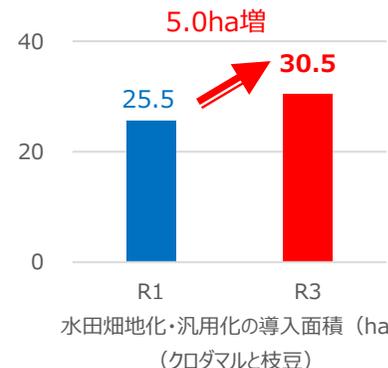


侵入防止柵の維持管理

事業の効果

水田の畑地化・汎用化による園芸品目の産地拡大

- 水田の畑地化・汎用化に高収益なクロダマル、枝豆の園芸品目の導入を推進し、産地を拡大した。



- 産地拡大を推進するクロダマル（大豆）と枝豆



中山間地域の人々の誇りと自信を醸成する「ひなたの棚田遺産」認定事業

【宮崎県】 にちなんし くしまし にしめらそん きしょうちよう もろつがそん しいばそん みさとちよう たかちほちよう ひのかげちよう ごかせちよう
 (日南市、串間市、西米良村、木城町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 棚田地域振興法の施行や新型コロナウイルス感染症による田園回帰志向の高まり。
- 宮崎県において、13市町村21地域が指定棚田地域に指定。
- 人口減少や高齢化により、保全活動の衰退や集落機能の低下が懸念。
- 集落機能強化と農村地域の魅力を活かした地域交流の活性化が必要。



【地域の位置】

【宮崎県】

[指定地域：過疎、振興山村、特定農山村、指定棚田]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

ひなたの棚田遺産の認定と情報発信

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 県内を代表する17棚田の認定による中山間地域の人々の誇りと自信を醸成するため認定証の贈呈、棚田カードの作成等を実施。
- 認定した棚田を核とした情報発信。
(ホームページの作成、ガイドブックの作成等)



ひなたの棚田遺産の募集

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

ひなたの棚田遺産の魅力発信による地域の活性化

- ひなたの棚田遺産に認定された17棚田のうち13棚田を農林水産省主催の「つなぐ棚田遺産」に推薦。
- ひなたの棚田遺産の保全団体との意見交換による優良事例の抽出と情報発信。



保全団体の意見交換

【中山間ふるさと・水と土保全推進事業】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

地域の共同活動による農地保全管理の推進と持続的な営農活動の推進

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進、持続的な営農活動の推進など、地域を下支えする取組を展開。
【多面的機能支払交付金】【中山間地域等直接支払交付金】【環境保全型農業直接支払交付金】等

事業の効果

宮崎の棚田の魅力発信

- つなぐ棚田遺産に13棚田が認定。
- オフィシャルサポーターに2企業が認定。



つなぐ棚田遺産の認定 宮崎県内のオフィシャルサポーター

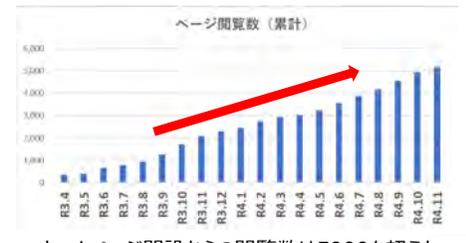
ひなたの棚田遺産に認定していたことで、つなぐ棚田遺産推薦に係る地元理解と情報が得られやすかった。また、オフィシャルサポーターに認定されたことにより、企業の意欲が向上した。

- ひなたの棚田遺産やつなぐ棚田遺産に認定による、誇りと自信の創出。



認定証や認定をきっかけに作成した棚田カードにより「住んでいると気づかないけれど、こんなに魅力のある所だったのだな」と喜びの声を頂いた。

- ひなたの棚田遺産の魅力発信による棚田への関心の高まり。



ホームページ開設からの閲覧数は5000を超え

村の特産品「ゆず」の未利用果実を活用した商品づくりと持続可能な産地の実現

ごゆ にしめらん
【宮崎県児湯地域】（西米良村）

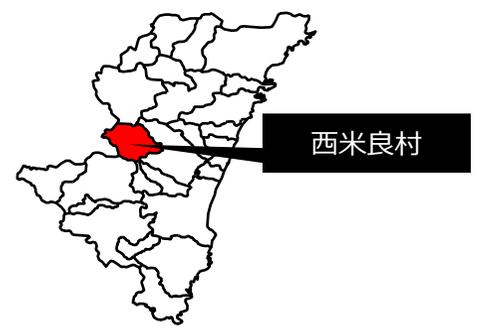
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T技術 の活用	棚田地域 の振興

【地域の現状・課題】

- 平坦地が少なく、農業経営の規模拡大が困難。
また、高齢化等による担い手不足に対応するため、新規就農者の確保、法人等多様な担い手の育成、省力化・低コスト化の取組など、将来的に営農が継続できる体制の整備が必要
- 村の特産品である「ゆず」は、労働力の不足から出荷期間内の収穫ができない等産地体制の見直しが必要
- 製品を通じて産地をPRするために、核となる商品づくりが必要
- 鳥獣被害が深刻であり、侵入防止柵の設置や有害鳥獣捕獲対策の推進など集落ぐるみで被害防止対策が必要

【地域の位置】

宮崎県（指定地域：過疎、振興山村、特定農山村等）



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域資源を活用したビジネスプランの検討

- 集落が作成した、地域特産品の「ゆず」を活用するビジネスプラン達成のためのサポーターを県が雇用し、各集落に派遣
 <取組概要>：集落での話し合い活動に参加し、ビジネスプラン達成のための助言や関係機関との調整を実施>

取組を深化

集落のビジネスプランの実現に向けた支援

未収穫果実を利用した新たな加工品の開発

- 地元菓子店との連携して開発した一口ゆず羊羹やゆずポン酢等を作成し菓子店等で販売 【県単事業】

水土里情報システムを活用した園地の見える化、省力的な園地づくり

- 園地面積や植栽状況、経営継続意向等を記載した台帳を作成し水土里情報システムを活用して見える化し、話し合い活動に活用
- 部会全体で低樹高化に取組み、80%以上の園地が低樹高化ドローンでの防除試験やリモコン草刈り機の運用試験に取り組んだほか、園内道の設置研修等を実施 【県単事業】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域ぐるみでの産地維持の取組

- 担い手の負担軽減や農村機能の維持のため、中山間地域等直接支払交付金の活用や鳥獣被害対策を通じた地域ぐるみの共同活動などを実施
- 村や普及センター、JA等の関係機関が連携して、ゆず生産部会を支援 【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金等】

事業の効果

持続可能な産地づくりの推進

- 生産者の強みを生かした商品開発による販売の強化



加工品の開発

加工品開発数（累計）



- 省力・低コスト技術の導入により所得向上を実現



低樹高化による省力化

サトイモの付加価値向上による栽培面積の拡大

ほくさつ
【鹿児島県北薩地域】（さつま町）

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興	複合経営・ 半農半Xの実践
--------------------------	--------------	-----------------	-------------	-----------------	-------------	------------------

【地域の現状・課題】

- 国が高収益作物の栽培を推進しているが、町の耕地面積の約7割が水田である。
- サトイモは町の重点品目に位置づけているものの、面積拡大が進んでいない。
- サトイモの生産拡大と廃棄親芋を解消するため、湛水栽培の普及と親芋の加工品の開発が必要。
- 親芋のほ場廃棄が野生鳥獣のえさ場となり、鳥獣被害が進行化しているため、対策が必要。

中山間地農業ルネッサンス推進事業

加工品の開発や販売促進

- 町内の製造設備での一次加工品の製造と品質の評価
- 一次加工品を用いた商品、メニュー開発と販売促進活動
- 原料イモの貯蔵法の実証試験の実施



栽培面積の拡大と野生鳥獣被害の軽減

- サトイモの栽培面積拡大を推進するため、疫病対策等に有効な湛水栽培や親芋の加工に関する『湛水栽培サトイモシンポジウム』を開催
- 野生鳥獣による被害の防止・軽減を図るため、ほ場廃棄の解消など被害防止対策の講演会を開催

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

収量の確保と新たな可能性の検討

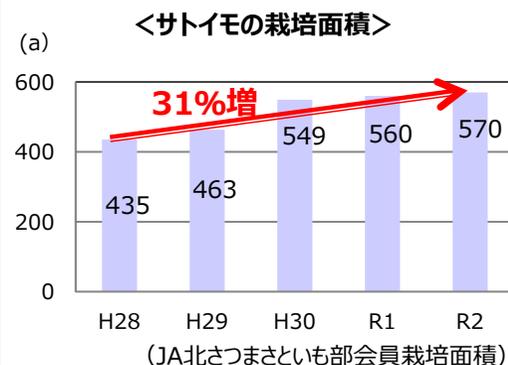
- 実践的な研修やきめ細かな営農指導により、取組農家を確保し、安定的な収量を確保。
- 酒造会社と契約し、さとも焼酎を開発。
- サトイモのほ場廃棄を削減し、野生鳥獣への餌付け防止。



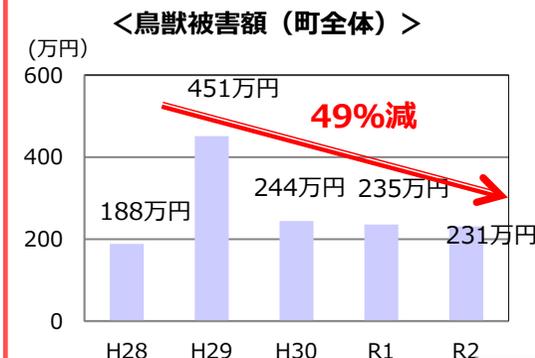
事業の効果

栽培面積の拡大と野生鳥獣被害の軽減

- サトイモ湛水栽培の普及により栽培面積が拡大。



- 親芋のほ場廃棄の削減により野生鳥獣による被害が減少。



【地域の位置】

【鹿児島県さつま町】

（指定地域：過疎、特定農山村）

さつま町

